

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMM I		
1	4.1	4.1 一般要求事項						
2	4.1	組織は、この規格の要求事項に従って、品質マネジメントシステムを確立し、文書化し、実施し、かつ、維持すること。また、その品質マネジメントシステムの有効性を継続的に改善すること。						
3	4.1	組織は、次の事項を実施すること。						
4	4.1	a) 品質マネジメントシステムに必要なプロセス及びそれらの組織への適用を明確にする（1.2参照）。						
5	4.1	b) これらのプロセスの順序及び相互関係を明確にする。						
6	4.1	c) これらのプロセスの運用及び管理のいずれもが効果的であることを確実にするために必要な判断基準及び方法を明確にする。						
7	4.1	d) これらのプロセスの運用及び監視の支援をするために必要な資源及び情報を利用できることを確実にする。						
8	4.1	e) これらのプロセスを監視、測定及び分析する。						
9	4.1	f) これらのプロセスについて、計画どおりの結果が得られるように、かつ、継続的改善を達成するために必要な処置をとる。						
10	4.1	組織は、これらのプロセスを、この規格の要求事項に従って運営管理すること。						
11	4.1	要求事項に対する製品の適合性に影響を与えるプロセスをアウトソースすることを組織が決めた場合には、組織はアウトソースしたプロセスに関して管理を確実にすること。アウトソースしたプロセスの管理について、組織の品質マネジメントシステムの中で明確にすること。						
12	4.1	参考1. 品質マネジメントシステムに必要なプロセスには、運営管理活動、資源の提供、製品実現及び測定にかかわるプロセスが含まれる。						

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMMI		
13	4.1	2. ここでいう、“アウトソース”とは、あるプロセス及びその管理を外部委託することである。“アウトソースしたプロセスに関して管理を確実にする”とは、外部委託したプロセスが正しく管理されていることを確実にすることである。						
14	4.1		L32	OPD-ACT1	文書化された手順に従って、「組織の標準ソフトウェアプロセス」を開発し維持する。	3-1	RD-GP3.1-AB1	定義された「要件開発」プロセスの記述を確立し維持する。
15	4.1		L32	OPD-ACT2	「組織の標準ソフトウェアプロセス」は、確立された組織標準に従って文書化	3-2	TS-GP3.1-AB1	定義された「技術解」プロセスの記述を確立し維持する。
16	4.1		L32	OPD-ACT3	プロジェクトにおいて使用することが承認されたソフトウェアライフサイクルの記述を文書化し維持する。	3-3	PI-GP3.1-AB1	定義されたプロダクト統合プロセスの記述を確立し維持する。
17	4.1		L32	OPD-ACT4	プロジェクトが「組織の標準ソフトウェアプロセス」をテーラリングするためのガイドラインおよび基準を開発し維持す	3-4	VER-GP3.1-AB1	定義された「検証」プロセスの記述を確立し維持する。
18	4.1					3-5	VAL-GP3.1-AB1	定義された「妥当性確認」プロセスの記述を確立し維持する。
19	4.1					3-6	OPF-SP1.1	組織のプロセスニーズおよび目標の記述を確立し維持する。
20	4.1					3-6	OPF-GP3.1-AB1	定義された「組織プロセス重視」プロセスの記述を確立し維持する。
21	4.1					3-7	OPD-SP1.1	一連の組織の標準プロセスを確立し維持する。
22	4.1					3-7	OPD-SP1.2	組織内で使用するために承認されたライフサイクルプロセスモデルの記述を確立し維持する。
23	4.1					3-7	OPD-SP1.3	一連の組織標準プロセスのテーラリング基準およびガイドラインを確立し維持す
24	4.1					3-7	OPD-GP3.1-AB1	定義された「組織プロセス定義」プロセスの記述を確立し維持する。
25	4.1					3-8	OT-GP3.1-AB1	定義された「組織トレーニング」プロセスの記述を確立し維持する。
26	4.1					3-9	IPM-GP3.1-AB1	定義された「統合プロジェクト管理」プロセスの記述を確立し維持する。
27	4.1					3-10	RSKM-GP3.1-AB1	定義された「リスク管理」プロセスの記述を確立し維持する。
28	4.1					3-11	IT-GP3.1-AB1	定義された「統合チーム編成」プロセスの記述を確立し維持する。
29	4.1					3-12	DAR-GP3.1-AB1	定義された「決定分析と解決」プロセスの記述を確立し維持する。
30	4.1					3-13	OE-GP3.1-AB1	定義された「統合のための組織環境」プロセスの記述を確立し維持する。

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMM I		
31	4.1					4-1	OPP-GP3.1-AB1	定義された組織プロセス実績プロセスの記述を確立し維持する。
32	4.1					4-2	QPM-GP3.1-AB1	定義された定量的プロジェクト管理プロセスの記述を確立し維持する。
33	4.1					5-1	OID-GP2.1-AB1	定義された組織改革と展開プロセスの記述を確立し維持する。
34	4.1					5-2	CAR-GP3.1-AB1	定義された原因分析と解決プロセスの記述を確立し維持する。
35	4.2.1	4.2.1 一般						
36	4.2.1	品質マネジメントシステムの文書には、次の事項を含めること。						
37	4.2.1	a) 文書化した、品質方針及び品質目標の表明						
38	4.2.1	b) 品質マニュアル						
39	4.2.1	c) この規格が要求する“文書化された手順”						
40	4.2.1	d) 組織内のプロセスの効果的な計画、運用及び管理を確実に実施するために、組織が必要と判断した文書						
41	4.2.1	e) この規格が要求する記録（4.2.4参照）						
42	4.2.1	参考1. この規格で“文書化された手順”という用語を使う場合には、その手順が確立され、文書化され、実施され、かつ、維持されていることを意味する。						
43	4.2.1	2. 品質マネジメントシステムの文書化の程度は、次の理由から組織によって異なることがある。						
44	4.2.1	a) 組織の規模及び活動の種類						
45	4.2.1	b) プロセス及びそれらの相互関係の複雑さ						
46	4.2.1	c) 要員の力量						
47	4.2.1	3. 文書の様式及び媒体の種類はどのようなものでもよい。						
48	4.2.1		L21	RM-COM1	プロジェクトは、「ソフトウェアに割り当てられたシステム要件」の管理に関して、明文化された組織方針に従う。			
49	4.2.1		L22	SPP-COM2	プロジェクトは、ソフトウェアプロジェクトの計画に関して、明文化された組織方針に従う。			
50	4.2.1		L22	SPP-ABL1	ソフトウェアプロジェクトに関して、文書化され承認された作業内容記述書が存在する。			

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMMI		
51	4.2.1		L22	SPP-ACT4	上級管理層は、組織外の個人とグループに対してなされたソフトウェアプロジェクトのコミットメントを、文書化された手順に従ってレビューする。			
52	4.2.1		L22	SPP-ACT6	プロジェクトのソフトウェア開発計画は、文書化された手順に従って策定す			
53	4.2.1		L22	SPP-ACT9	ソフトウェア作業成果物の規模（またはソフトウェア作業成果物の変更規模）の見積りは、文書化された手順に従って算出する。			
54	4.2.1		L22	SPP-ACT10	ソフトウェアプロジェクトの工数とコストの見積りは、文書化された手順に従って算出する。			
55	4.2.1		L22	SPP-ACT11	プロジェクトの重要なコンピュータ資源の見積りは、文書化された手順に従って算出する。			
56	4.2.1		L22	SPP-ACT12	プロジェクトのソフトウェアスケジュールは、文書化された手順に従って策定す			
57	4.2.1		L22	SPP-ACT13	プロジェクトのコスト、資源、スケジュール、および技術面にかかわるソフトウェアのリスクを特定し、アセスメントし、そして文書化する。			
58	4.2.1		L22	SPP-ACT15	ソフトウェア計画策定に関するデータを記録する。			
59	4.2.1		L23	PTO-COM2	プロジェクトは、ソフトウェアプロジェクトの管理に関して、明文化された組織方針に従う。			
60	4.2.1		L23	PTO-ACT2	プロジェクトのソフトウェア開発計画は、文書化された手順に従って改訂す			
61	4.2.1		L23	PTO-ACT3	上級管理層は、組織外のグループと個人に対するソフトウェアプロジェクトのコミットメントおよびコミットメントに対する変更を、文書化された手順に従ってレビューする。			
62	4.2.1		L23	PTO-ACT11	ソフトウェアプロジェクトの実計測データと再計画データを記録する。			
63	4.2.1		L23	PTO-ACT13	ソフトウェアプロジェクトの成果と結果を取り上げるための公式レビューは、文書化された手順に従って、選定されたプロジェクトのマイルストーンで開催す			
64	4.2.1		L24	SSM-COM1	プロジェクトは、ソフトウェア外注管理に関して、明文化された組織方針に従			
65	4.2.1		L24	SSM-ACT1	外注する作業は、文書化された手順に従って定義し計画する。			

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMMI		
66	4.2.1		L24	SSM-ACT2	ソフトウェア外注先は、外注契約入札者の作業実施能力に関する評価を基盤とし、文書化された手順に従って選定す			
67	4.2.1		L24	SSM-ACT6	ソフトウェア外注先の作業内容記述書、外注契約条項、およびその他のコミットメントに関する変更は、文書化された手順に従って解決する。			
68	4.2.1		L24	SSM-ACT9	外注先のソフトウェアエンジニアリングの成果と結果を取り上げるための正式レビューは、選択されたマイルストーンで、文書化された手順に従って開催す			
69	4.2.1		L24	SSM-ACT10	発注元のソフトウェア品質保証グループは、文書化された手順に従って外注先のソフトウェア品質保証の活動をモニターする。			
70	4.2.1		L24	SSM-ACT11	発注元のソフトウェア構成管理グループは、文書化された手順に従って外注先のソフトウェア構成管理活動をモニターす			
71	4.2.1		L24	SSM-ACT12	発注元は、外注先のソフトウェア成果物納入の一環として、文書化された手順に従って検収テストを実施する。			
72	4.2.1		L25	SQA-COM1	プロジェクトは、ソフトウェア品質保証（SQA）の実装に関して、明文化された組織方針に従う。			
73	4.2.1		L25	SQA-ACT1	ソフトウェアプロジェクトのSQA計画は、文書化された手順に従って作成す			
74	4.2.1		L25	SQA-ACT7	ソフトウェア活動やソフトウェア作業成果物について特定された逸脱事項は、文書化された手順に従って文書化し取り扱			
75	4.2.1		L26	SCM-COM1	プロジェクトは、ソフトウェア構成管理（SCM）の実装に関して、明文化された組織方針に従う。			
76	4.2.1		L26	SCM-ACT1	SCM 計画は、文書化された手順に従ってソフトウェアプロジェクト個別に作成す			
77	4.2.1		L26	SCM-ACT4	構成管理下におくべきソフトウェア作業成果物を特定する。			
78	4.2.1		L26	SCM-ACT5	すべての構成アイテム/ユニットの変更要求や問題報告は、文書化された手順に従って発行し、記録し、レビューし、承認し、そして進捗を確認する。			
79	4.2.1		L26	SCM-ACT6	ベースラインの変更は、文書化された手順に従って制御する。			
80	4.2.1		L26	SCM-ACT7	文書化された手順に従って、ソフトウェアベースラインライブラリから成果物を生成し、それらのリリースを制御する。			

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMMI		
81	4.2.1		L26	SCM-ACT8	構成アイテム/ユニットの状況は、文書化された手順に従って記録する。			
82	4.2.1		L26	SCM-ACT9	SCM活動およびソフトウェアベースラインの内容に関する標準報告書を作成し、影響を受けるグループと個人に利用可能とする。			
83	4.2.1		L26	SCM-ACT10	ソフトウェアベースライン監査は、文書化された手順に従って実施する。			
84	4.2.1		L31	OPF-COM1	組織は、組織横断的なソフトウェアプロセスの開発と改善活動の調整に関して明文化された組織方針に従う。			
85	4.2.1		L32	OPD-COM1	組織は、標準ソフトウェアプロセスおよび関連するプロセス資産の開発と維持に関して、明文化された方針に従う。			
86	4.2.1		L32	OPD-ACT1	文書化された手順に従って、「組織の標準ソフトウェアプロセス」を開発し維持する。			
87	4.2.1		L32	OPD-ACT2	「組織の標準ソフトウェアプロセス」は、確立された組織標準に従って文書化			
88	4.2.1		L32	OPD-ACT3	プロジェクトにおいて使用することが承認されたソフトウェアライフサイクルの記述を文書化し維持する。			
89	4.2.1		L33	TP-COM1	組織は、トレーニングのニーズを満たすことに関して、明文化された方針に従			
90	4.2.1		L33	TP-ACT2	文書化された手順に従って、組織のトレーニング計画を策定し改訂する。			
91	4.2.1		L34	ISM-COM1	プロジェクトは、「組織の標準ソフトウェアプロセス」および関連するプロセス資産を用いてソフトウェアプロジェクトを計画し管理することに関して、そのことを要求する明文化された組織方針に			
92	4.2.1		L34	ISM-ACT1	文書化された手順に従って「組織の標準ソフトウェアプロセス」をテラリングすることにより、「プロジェクトの定義されたソフトウェアプロセス」を開発す			
93	4.2.1		L34	ISM-ACT2	それぞれの「プロジェクトの定義されたソフトウェアプロセス」は、文書化された手順に従って改訂する。			
94	4.2.1		L34	ISM-ACT3	プロジェクトのソフトウェア開発計画は、「プロジェクトの定義されたソフトウェアプロセス」の使用を記述するものであり、文書化された手順に従って策定し改訂する。			
95	4.2.1		L34	ISM-ACT4	「プロジェクトの定義されたソフトウェアプロセス」に従って、ソフトウェアプロジェクトを管理する。			

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMM I		
96	4.2.1		L34	ISM-ACT6	ソフトウェア作業成果物の規模（またはソフトウェア作業成果物の変更規模）は、文書化された手順に従って管理す			
97	4.2.1		L34	ISM-ACT7	プロジェクトのソフトウェア工数とコストは、文書化された手順に従って管理す			
98	4.2.1		L34	ISM-ACT8	プロジェクトの重要なコンピュータ資源は、文書化された手順に従って管理す			
99	4.2.1		L34	ISM-ACT9	プロジェクトのソフトウェアスケジュールの重要な依存関係とクリティカルパスは、文書化された手順に従って管理す			
100	4.2.1		L34	ISM-ACT10	プロジェクトのソフトウェアリスクは、文書化された手順に従って特定し、アセスメントし、文書化し、そして管理す			
101	4.2.1		L35	SPE-COM1	プロジェクトは、ソフトウェアエンジニアリング活動の実施に関して、明文化された組織方針に従う。			
102	4.2.1		L36	IC-COM1	プロジェクトは、各エンジニアリングの代表者チームの確立に関して、明文化された組織方針に従う。			
103	4.2.1		L36	IC-ACT4	エンジニアリンググループ間の重要な依存関係は、文書化された手順に従って特定し、協議し、そして進捗を確認する。			
104	4.2.1		L36	IC-ACT6	個々のプロジェクトエンジニアリンググループの代表者で解決できないグループ間の課題は、文書化された手順に従って取り扱う。			
105	4.2.1		L37	PR-COM1	プロジェクトは、ピアレビューの実施に関して、明文化された組織方針に従う。			
106	4.2.1		L37	PR-ACT2	文書化された手順に従って、ピアレビューを実施する。			
107	4.2.1		L41	QPM-ACT1	定量的プロセス管理に対するソフトウェアプロジェクト計画は、文書化された手順に従って策定する。			
108	4.2.1		L41	QPM-ACT4	「プロジェクトの定義されたソフトウェアプロセス」を定量的に制御するために用いられる計測データは、文書化された手順に従って収集する。			
109	4.2.1		L41	QPM-ACT5	「プロジェクトの定義されたソフトウェアプロセス」は、文書化された手順に従って分析し、定量的な制御下に置			
110	4.2.1		L41	QPM-ACT7	「組織の標準ソフトウェアプロセス」に対するプロセス能力ベースラインは、文書化された手順に従って確立され維持される。			

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMMI		
111	4.2.1		L42	SQM-ACT1	プロジェクトのソフトウェア品質計画は、文書化された手順に従って策定し保守する。			
112	4.2.1		L51	DP-ACT3	文書化された手順に従って原因分析会議を開催する。			
113	4.2.1		L51	DP-ACT5	欠陥予防データを文書化し、欠陥予防活動を調整しているチーム間で横断的に進捗を確認する。			
114	4.2.1		L51	DP-ACT6	欠陥予防処置に伴う「組織の標準ソフトウェアプロセス」の改訂は、文書化された手順に従って組み込む。			
115	4.2.1		L51	DP-ACT7	欠陥予防処置に伴う「プロジェクトの定義されたソフトウェアプロセス」の改訂は、文書化された手順に従って組み込む。			
116	4.2.1		L52	TCM-ACT5	文書化された手順に従って、組織およびソフトウェアプロジェクトのための技術を選択し獲得する。			
117	4.2.1		L52	TCM-ACT7	文書化された手順に従って、「組織の標準ソフトウェアプロセス」に適切な新技術を組み込む。			
118	4.2.1		L52	TCM-ACT8	文書化された手順に従って、「プロジェクトの定義されたソフトウェアプロセス」に適切な新技術を組み込む。			
119	4.2.1		L53	PCM-ACT3	組織は、文書化された手順に従って、ソフトウェアプロセス改善の計画を策定し保守する。			
120	4.2.1		L53	PCM-ACT5	ソフトウェアプロセス改善提案は、文書化された手順に従って取扱われる。			
121	4.2.1		L53	PCM-ACT8	改善策を正規のプラクティスとして組み込むことを決定した場合、文書化された手順に従って履行する。			
122	4.2.2	4.2.2 品質マニュアル						
123	4.2.2	組織は、次の事項を含む品質マニュアルを作成し、維持すること。						
124	4.2.2	a) 品質マネジメントシステムの適用範囲。除外がある場合には、その詳細と正当とする理由(1.2参照)。						
125	4.2.2	b) 品質マネジメントシステムについて確立された“文書化された手順”又はそれらを参照できる情報						

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMM I		
126	4.2.2	c) 品質マネジメントシステムのプロセス間の相互関係に関する記述						
127	4.2.3	4.2.3 文書管理						
128	4.2.3	品質マネジメントシステムで必要とされる文書は管理すること。ただし、記録は文書の一種ではあるが、4.2.4に規定する要求事項に従って管理すること。						
129	4.2.3	次の活動に必要な管理を規定する“文書化された手順”を確立すること。						
130	4.2.3	a) 発行前に、適切かどうかの観点から文書を承認する。						
131	4.2.3	b) 文書をレビューする。また、必要に応じて更新し、再承認する。						
132	4.2.3	c) 文書の変更の識別及び現在の改訂版の識別を確実にする。						
133	4.2.3	d) 該当する文書の適切な版が、必要なときに、必要なところで使用可能な状態にあることを確実にする。						
134	4.2.3	e) 文書が読みやすく、容易に識別可能な状態であることを確実にする。						
135	4.2.3	f) どれが外部で作成された文書であるかを明確にし、その配付が管理されていることを確実にする。						
136	4.2.3	g) 廃止文書が誤って使用されないようにする。また、これらを何らかの目的で保持する場合には、適切な識別をする。						
137	4.2.3		L32	OPD-ACT6	「ソフトウェアプロセス関連文書のライブラリ」を確立し維持する。 6.3、8.4参照	3-12	DAR-SP1.5	文書化された基準を使用して選択肢を評価する。
138	4.2.4	4.2.4 記録の管理						
139	4.2.4	記録は、要求事項への適合及び品質マネジメントシステムの効果的運用の証拠を示すために、作成し、維持すること。記録は、読みやすく、容易に識別可能で、検索可能であること。記録の識別、保管、保護、検索、保管期間及び廃棄に関して必要な管理を規定するために、“文書化された手順”を確立すること。						

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMM I		
140	4.2.4		L23	PT0-ACT11	ソフトウェアプロジェクトの実計測データと再計画データを記録する。			
141	4.2.4		L32	OPD-ACT5	「組織のソフトウェアプロセスデータベース」を確立し維持する。			
142	4.2.4		L32	OPD-ACT6	「ソフトウェアプロセス関連文書のライブラリ」を確立し維持する。 6.3、8.4参照			
143	4.2.4		L53	PCM-ACT9	ソフトウェアプロセス改善活動の記録を維持する。			
144	5.1	5.1 経営者のコミットメント						
145	5.1	トップマネジメントは、品質マネジメントシステムの構築及び実施、並びにその有効性を継続的に改善することに対するコミットメントの証拠を次の事項によって示すこと。						
146	5.1	a) 法令・規制要求事項を満たすことは当然のこととして、顧客要求事項を満たすことの重要性を組織内に周知する。						
147	5.1	b) 品質方針を設定する。						
148	5.1	c) 品質目標が設定されることを確実にする。						
149	5.1	d) マネジメントレビューを実施する。						
150	5.1	e) 資源が使用できることを確実にする。						
151	5.1		L31	OPF-COM2	上級管理層は、組織のソフトウェアプロセスの開発と改善の活動を主催する。			
152	5.1		L31	OPF-COM3	上級管理層は、ソフトウェアプロセスの開発と改善に対し、組織の活動を監督する。			
153	5.1		L52	TCM-COM2	上級管理層は、組織の技術変更管理活動を主催する。			
154	5.1		L53	PCM-COM2	上級管理層は、ソフトウェアプロセス改善の組織活動を主催する。			
155	5.2	5.2 顧客重視						
156	5.2	顧客満足の向上を目指して、トップマネジメントは、顧客要求事項が決定され、満たされていることを確実にすること(7.2.1及び8.2.1参照)。						
157	5.3	5.3 品質方針						
158	5.3	トップマネジメントは、品質方針について次の事項を確実にすること。						
159	5.3	a) 組織の目的に対して適切である。						

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMM I		
160	5.3	b) 要求事項への適合及び品質マネジメントシステムの有効性の継続的な改善に対するコミットメントを含む。						
161	5.3	c) 品質目標の設定及びレビューのための枠組みを与える。						
162	5.3	d) 組織全体に伝達され、理解される。						
163	5.3	e) 適切性の持続のためにレビューする。						
164	5.3		L21	RM-COM1	プロジェクトは、「ソフトウェアに割り当てられたシステム要件」の管理に関して、明文化された組織方針に従う。	2-1	REQM-GP2.1-C01	「要件管理」プロセスの計画策定および実施のための組織方針を確立し維持する。
165	5.3		L22	SPP-COM2	プロジェクトは、ソフトウェアプロジェクトの計画に関して、明文化された組織方針に従う。	2-2	PP-GP2.1-C01	プロジェクト計画策定プロセスの計画策定および実施のための組織方針を確立し維持する。
166	5.3		L23	PTO-COM2	プロジェクトは、ソフトウェアプロジェクトの管理に関して、明文化された組織方針に従う。	2-3	PMC-GP2.1-C01	「プロジェクトの監視と制御」プロセスの計画策定および実施のための組織方針を確立し維持する。
167	5.3		L24	SSM-COM1	プロジェクトは、ソフトウェア外注管理に関して、明文化された組織方針に従う。	2-4	SAM-GP2.1-C01	「供給者合意管理」プロセスの計画策定および実施のための組織方針を確立し維持する。
168	5.3		L25	SQA-COM1	プロジェクトは、ソフトウェア品質保証（SQA）の実装に関して、明文化された組織方針に従う。	2-5	MA-GP2.1-C01	「測定と分析」プロセスの計画策定および実施のための組織方針を確立し維持する。
169	5.3		L26	SCM-COM1	プロジェクトは、ソフトウェア構成管理（SCM）の実装に関して、明文化された組織方針に従う。	2-6	PPQA-GP2.1-C01	「プロセスと成果物の品質保証」プロセスの計画策定および実施のための組織方針を確立し維持する。
170	5.3		L31	OPF-COM1	組織は、組織横断的なソフトウェアプロセスの開発と改善活動の調整に関して明文化された組織方針に従う。	2-7	CM-GP2.1-C01	「構成管理」プロセスの計画策定および実施のための組織方針を確立し維持する。
171	5.3		L32	OPD-COM1	組織は、標準ソフトウェアプロセスおよび関連するプロセス資産の開発と維持に関して、明文化された方針に従う。	3-1	RD-GP2.1-C01	「要件開発」プロセスの計画策定および実施のための組織方針を確立し維持する。
172	5.3		L33	TP-COM1	組織は、トレーニングのニーズを満たすことに関して、明文化された方針に従う。	3-2	TS-GP2.1-C01	「技術解」プロセスの計画策定および実施のための組織方針を確立し維持する。
173	5.3		L34	ISM-COM1	プロジェクトは、「組織の標準ソフトウェアプロセス」および関連するプロセス資産を用いてソフトウェアプロジェクトを計画し管理することに関して、そのことを要求する明文化された組織方針に従う。	3-3	PI-GP2.1-C01	「成果物統合」プロセスの計画策定および実施のための組織方針を確立し維持する。
174	5.3		L35	SPE-COM1	プロジェクトは、ソフトウェアエンジニアリング活動の実施に関して、明文化された組織方針に従う。	3-4	VER-GP2.1-C01	「検証」プロセスの計画策定および実施のための組織方針を確立し維持する。

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMMI		
175	5.3		L36	IC-COM1	プロジェクトは、各エンジニアリングの代表者チームの確立に関して、明文化された組織方針に従う。	3-5	VAL-GP2.1-C01	「妥当性確認」プロセスの計画策定および実施のための組織方針を確立し維持する。
176	5.3		L37	PR-COM1	プロジェクトは、ピアレビューの実施に関して、明文化された組織方針に従う。	3-6	OPF-GP2.1-C01	「組織プロセス重視」プロセスの計画策定および実施のための組織方針を確立し維持する。
177	5.3		L41	QPM-COM1	プロジェクトは、「プロジェクトの定義されたソフトウェアプロセス」についての実績の計測と定量的な制御に関して、明文化された組織方針に従う。	3-7	OPD-GP2.1-C01	「組織プロセス定義」プロセスの計画策定および実施のための組織方針を確立し維持する。
178	5.3		L41	QPM-COM2	組織は、「組織の標準ソフトウェアプロセス」のプロセス能力分析に関して、明文化された方針に従う。	3-8	OT-GP2.1-C01	「組織トレーニング」プロセスの計画策定および実施のための組織方針を確立し維持する。
179	5.3		L42	SQM-COM1	プロジェクトは、ソフトウェア品質管理に関して、明文化された組織方針に従う。	3-9	IPM-GP2.1-C01	「統合プロジェクト管理」プロセスの計画策定および実施のための組織方針を確立し維持する。
180	5.3		L51	DP-COM1	組織は、欠陥予防活動に関して、明文化された方針に従う。	3-10	RSKM-GP2.1-C01	「リスク管理」プロセスの計画策定および実施のための組織方針を確立し維持する。
181	5.3		L51	DP-COM2	プロジェクトは、欠陥予防活動に関して、明文化された組織方針に従う。	3-11	IT-GP2.1-C01	「統合チーム編成」プロセスの計画策定および実施のための組織方針を確立し維持する。
182	5.3		L52	TCM-COM1	組織は、技術能力の改善に関して、明文化された組織方針に従う。	3-12	DAR-GP2.1-C01	「決定分析と解決」プロセスの計画策定および実施のための組織方針を確立し維持する。
183	5.3		L53	PCM-COM1	組織は、ソフトウェアプロセス改善の実装に関して明文化された方針に従う。	3-13	OE-GP2.1-C01	「統合のための組織環境」プロセスの計画策定および実施のための組織方針を確立し維持する。
184	5.3					4-1	OPP-GP2.1-C01	組織プロセス実績プロセスの計画策定および実施のための組織方針を確立し維持する。
185	5.3					4-2	QPM-GP2.1-C01	定量的プロジェクト管理プロセスの計画策定および実施のための組織方針を確立し維持する。
186	5.3					5-1	OID-GP2.1-C01	組織改革と展開プロセスの計画策定および実施のための組織方針を確立し維持する。
187	5.3					5-2	CAR-GP2.1-C01	原因分析と解決プロセスの計画策定および実施のための組織方針を確立し維持する。
188	5.4	5.4 計画						
189	5.4					4-1	OPP-GP2.2-AB1	要件および目標を確立し、維持し、そして組織プロセス実績プロセスの実施を計画する。
190	5.4					4-2	QPM-GP2.2-AB1	要件および目標を確立し、維持し、そして定量的プロジェクト管理プロセスの実施を計画する。

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

	ISO9001		SW - CMM			CMMI		
191	5.4					5-1	OID-GP2.2-AB1	要件および目標を確立し、維持し、そして組織改革と展開プロセスの実施を計画する。
192	5.4					5-2	CAR-GP2.2-AB1	要件および目標を確立し、維持し、そして原因分析と解決プロセスの実施を計画する。
193	5.4.1	5.4.1 品質目標						
194	5.4.1	トップマネジメントは、組織内のそれぞれの部門及び階層で品質目標が設定されていることを確実にすること。その品質目標には、製品要求事項[7.1.a)参照]を満たすために必要なものがあれば含めること。品質目標は、その達成度が判定可能で、品質方針との整合性がとれていること。						
195	5.4.1		L25	SQA-COM1	5.3参照			
196	5.4.1		L26	SCM-COM1	5.3参照			
197	5.4.1		L42	SQM-ACT3	ソフトウェアライフサイクルを通じて、ソフトウェア成果物に対するプロジェクトの定量的品質目標を、定義し、モニターし、そして改訂する。	4-1	OPP-SP1.3	組織の品質およびプロセス実績の定量的目標を確立し維持する。
198	5.4.1					4-2	QPM-SP1.1	プロジェクトの品質およびプロセス実績目標を確立し維持する。
199	5.4.1					4-2	QPM-SP1.4	プロジェクトを監視して、品質およびプロセス実績に関するプロジェクトの目標が満たされるかどうかを判断し、適宜是正処置をとる。
200	5.4.1					5-1	OID-SP2.1	選択されたプロセスおよび技術改善策の展開の計画を確立し維持する。
201	5.4.2	5.4.2 品質マネジメントシステムの計画						
202	5.4.2	トップマネジメントは、次の事項を確実にすること。						
203	5.4.2	a) 品質目標及び4.1に規定する要求事項を満たすために、品質マネジメントシステムの計画が策定される。						
204	5.4.2	b) 品質マネジメントシステムの変更が計画され、実施される場合には、品質マネジメントシステムが“完全に整っている状態”(integrity)を維持している。						

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMMI		
205	5.4.2		L32	OPD-ACT1	文書化された手順に従って、「組織の標準ソフトウェアプロセス」を開発し維持する。	3-6	OPF-SP2.1	組織のプロセスおよび関連プロセス資産に対する改善策を取り上げたプロセス処置計画を確立し維持する。
206	5.4.2		L32	OPD-ACT2	「組織の標準ソフトウェアプロセス」は、確立された組織標準に従って文書化			
207	5.4.2		L32	OPD-ACT3	プロジェクトにおいて使用することが承認されたソフトウェアライフサイクルの記述を文書化し維持する。			
208	5.4.2		L32	OPD-ACT4	プロジェクトが「組織の標準ソフトウェアプロセス」をテラリングするためのガイドラインおよび基準を開発し維持す			
209	5.4.2					3-6	OPF-SP2.4	プロセスの計画策定および実施から導き出されたプロセス関連作業成果物、尺度、および改善情報を組織のプロセス資産に組み込む。
210	5.5.	5.5 責任、権限及びコミュニケーション						
211	5.5.1	5.5.1 責任及び権限						
212	5.5.1	トップマネジメントは、責任及び権限が定められ、組織全体に周知されていることを確実にすること。						
213	5.5.1		L22	SPP-COM1	コミットメントの協議と、プロジェクトのソフトウェア開発計画の策定に対し、責任を持つプロジェクトソフトウェアマネージャが任命される	2-1	REQM-GP2.4-AB3	「要件管理」プロセスを実施し、作業成果物を開発し、そしてサービスを提供するための責任及び権限を割り当てる。
214	5.5.1		L23	PTO-COM1	プロジェクトのソフトウェア活動と結果に対し、責任を持つプロジェクトソフトウェアマネージャが任命される。	2-2	PP-GP2.4-AB3	プロジェクト計画策定プロセスを実施し、作業成果物を開発し、そしてプロセスのサービスを提供するために責任および権限を割り当てる。
215	5.5.1		L24	SSM-COM2	ソフトウェア外注の確立と管理のため、責任者となる外注管理者が任命される。	2-3	PMC-GP2.4-AB3	「プロジェクトの監視と制御」プロセスを実施し、作業成果物を開発し、そしてサービスを提供するための責任及び権限を割り当てる。
216	5.5.1		L25	SQA-ABL1	プロジェクトには、SQAの調整と履行に責任を持つグループ（SQAグループ）が存在する。	2-4	SAM-GP2.4-AB3	「供給者合意管理」プロセスを実施し、作業成果物を開発し、そしてサービスを提供するための責任及び権限を割り当てる。
217	5.5.1		L26	SCM-ABL1	プロジェクトのソフトウェアベースラインの管理権限を持つ委員会（ソフトウェア構成制御委員会：Software Configuration Control Board=SCCB）が存在するか、あるいは確立されている。	2-5	MA-GP2.4-AB3	「測定と分析」プロセスを実施し、作業成果物を開発し、そしてサービスを提供するための責任及び権限を割り当てる。
218	5.5.1		L31	OPF-ABL1	組織のソフトウェアプロセス活動に責任を持つグループが存在する。	2-6	PPQA-GP2.4-AB3	「プロセスと成果物の品質保証」プロセスを実施し、作業成果物を開発し、そしてサービスを提供するための責任及び権限を割り当てる。

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			S W - C M M			C M M I		
219	5.5.1		L33	TP-ABL1	組織のトレーニングニーズの充足に責任を持つグループが存在する。	2-7	CM-GP2.4-AB3	「構成管理」プロセスを実施し、作業成果物を開発し、そしてサービスを提供するための責任及び権限を割り当てる。
220	5.5.1		L41	QPM-ABL1	組織の定量的プロセス管理活動の調整に責任を持つグループが存在する。	3-1	RD-GP2.4-AB4	「要件開発」プロセスを実施し、作業成果物を開発し、そしてサービスを提供するための責任及び権限を割り当てる。
221	5.5.1		L51	DP-ABL1	欠陥予防活動を調整する組織レベルのチームが存在する。	3-2	TS-GP2.4-AB4	「技術解」プロセスを実施し、作業成果物を開発し、そしてサービスを提供するための責任及び権限を割り当てる。
222	5.5.1		L51	DP-ABL2	ソフトウェアプロジェクトのために欠陥予防活動を調整するチームが存在する。	3-3	PI-GP2.4-AB4	「成果物統合」プロセスを実施し、作業成果物を開発し、そしてサービスを提供するための責任及び権限を割り当てる。
223	5.5.1		L52	TCM-ABL1	組織の技術変更管理活動に責任を持つグループが存在する。	3-4	VER-GP2.4-AB4	「検証」プロセスを実施し、作業成果物を開発し、そしてサービスを提供するための責任及び権限を割り当てる。
224	5.5.1		L53	PCM-ACT1	ソフトウェアプロセス改善プログラムを確立して、組織のメンバに組織のプロセスを改善する権限を与える。	3-5	VAL-GP2.4-AB4	「妥当性確認」プロセスを実施し、作業成果物を開発し、そしてサービスを提供するための責任及び権限を割り当てる。
225	5.5.1					3-6	OPF-GP2.4-AB4	「組織プロセス重視」プロセスを実施し、作業成果物を開発し、そしてサービスを提供するための責任及び権限を割り
226	5.5.1					3-7	OPD-GP2.4-AB4	「組織プロセス定義」プロセスを実施し、作業成果物を開発し、そしてサービスを提供するための責任及び権限を割り
227	5.5.1					3-8	OT-GP2.4-AB4	「組織トレーニング」プロセスを実施し、作業成果物を開発し、そしてサービスを提供するための責任及び権限を割り
228	5.5.1					3-9	IPM-GP2.4-AB4	「統合プロジェクト管理」プロセスを実施し、作業成果物を開発し、そしてサービスを提供するための責任及び権限を割り当てる。
229	5.5.1					3-10	RSKM-GP2.4-AB4	「リスク管理」プロセスを実施し、作業成果物を開発し、そしてサービスを提供するための責任及び権限を割り当てる。
230	5.5.1					3-11	IT-GP2.4-AB4	「統合チーム編成」プロセスを実施し、作業成果物を開発し、そしてサービスを提供するための責任及び権限を割り当て
231	5.5.1					3-12	DAR-GP2.4-AB4	「決定分析と解決」プロセスを実施し、作業成果物を開発し、そしてサービスを提供するための責任及び権限を割り当て
232	5.5.1					3-13	OE-SP2.1	時期に適した協働作業を可能にするリーダーシップの仕組みを確立し維持する。
233	5.5.1					3-13	OE-SP2.3	チームの責任と所属組織の責任バランスをとる組織ガイドラインを確立し維持す

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

	ISO9001		SW - CMM			CMMI	
234	5.5.1					3-13 OE-GP2.4-AB4	「統合のための組織環境」プロセスを実施し、作業成果物を開発し、そしてサービスを提供するための責任及び権限を割り当てる。
235	5.5.1					4-1 OPP-GP2.4-AB3	組織プロセス実績プロセスを実施し、作業成果物を開発し、そしてプロセスのサービスを提供するために責任および権限を割り当てる。
236	5.5.1					4-1 OPPGP2.7-DI2	計画どおりに、組織プロセス実績プロセスの直接の利害関係者を特定し関与させ
237	5.5.1					4-2 QPM-GP2.4-AB3	定量的プロジェクト管理プロセスを実施し、作業成果物を開発し、そしてプロセスのサービスを提供するために責任および権限を割り当てる。
238	5.5.1					4-2 QPM-GP2.7-DI2	計画どおりに、定量的プロジェクト管理プロセスの直接の利害関係者を特定し関与させる。
239	5.5.1					5-1 OID-GP2.4-AB3	組織改革と展開プロセスを実施し、作業成果物を開発し、そしてプロセスのサービスを提供するために責任および権限を割り当てる。
240	5.5.1					5-1 OID-GP2.7-DI2	計画どおりに、組織改革と展開プロセスの直接の利害関係者を特定し関与させ
241	5.5.1					5-2 CAR-GP2.4-AB3	原因分析と解決プロセスを実施し、作業成果物を開発し、そしてプロセスのサービスを提供するために責任および権限を割り当てる。
242	5.5.1					5-2 CAR-GP2.7-DI2	計画どおりに、原因分析と解決プロセスの直接の利害関係者を特定し関与させ
243	5.5.2	5.5.2 管理責任者					
244	5.5.2	トップマネジメントは、管理層の中から管理責任者を任命すること。管理責任者は与えられている他の責任とかわりなく次に示す責任及び権限をもつこと。					
245	5.5.2	a) 品質マネジメントシステムに必要なプロセスの確立、実施及び維持を確実にする。					
246	5.5.2	b) 品質マネジメントシステムの実施状況及び改善の必要性の有無についてトップマネジメントに報告する。					
247	5.5.2	c) 組織全体にわたって、顧客要求事項に対する認識を高めることを確実にする。					

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMMI		
248	5.5.2	参考1. 管理責任者の責任には、品質マネジメントシステムに関する事項について外部と連絡をとることも含めることができる。						
249	5.5.2	2. 管理責任者は、上記の責任及び権限をもつ限り、一人である必要はない。						
250	5.5.3	5.5.3 内部コミュニケーション						
251	5.5.3	トップマネジメントは、組織内にコミュニケーションのための適切なプロセスが確立されることを確実にすること。また、品質マネジメントシステムの有効性に関しての情報交換が行われることを確実にすること。						
252	5.5.3		L31	OPF-ACT5	組織で限定的に使用される新しいプロセス、手法、およびツールを、モニターし、評価し、そして適切であれば組織の他の部分に移転させる。	3-6	OPF-SP2.2	プロセス処置計画を組織横断的に実施する。
253	5.5.3		L31	OPF-ACT7	組織やプロジェクトのソフトウェアプロセスの開発と改善に関する活動について、ソフトウェアプロセスの実装に携わるグループに情報を伝える。	3-6	OPF-SP2.3	プロセスおよび関連プロセス資産を組織横断的に展開する。
254	5.5.3		L36	IC-ACT2	7.3.1参照			
255	5.5.3		L51	DP-ACT2	ソフトウェアタスクの開始時に、そのタスクを実行するチームのメンバはソフトウェアタスクの活動の準備と、関連する欠陥予防活動の準備について打ち合わせ			
256	5.6	5.6 マネジメントレビュー						
257	5.6		L52	TCM-COM2	上級管理層は、組織の技術変更管理活動を主催する。	4-1	OPP-GP2.10-VE2	組織プロセス実績プロセスの活動、状況、および結果を上位レベルの管理層がレビューし、課題を解決する。
258	5.6		L52	TCM-COM3	上級管理層は、組織の技術変更管理活動を監督する。	4-2	QPM-GP2.10-VE2	定量的プロジェクト管理プロセスの活動、状況、および結果を上位レベルの管理層がレビューし、課題を解決する。
259	5.6		L53	PCM-COM2	上級管理層は、ソフトウェアプロセス改善の組織活動を主催する。	5-1	OID-GP2.10-VE2	組織改革と展開プロセスの活動、状況、および結果を上位レベルの管理層がレビューし、課題を解決する。
260	5.6					5-2	CAR-GP2.10-VE2	原因分析と解決プロセスの活動、状況、および結果を上位レベルの管理層がレビューし、課題を解決する。
261	5.6.1	5.6.1 一般						

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMM I		
262	5.6.1	トップマネジメントは、組織の品質マネジメントシステムが、引き続き適切で、妥当で、かつ、有効であることを確実にするために、あらかじめ定められた間隔で品質マネジメントシステムをレビューすること。このレビューでは、品質マネジメントシステムの改善の機会の評価、品質方針及び品質目標を含む品質マネジメントシステムの変更の必要性の評価も行うこと。						
263	5.6.1	マネジメントレビューの結果の記録は維持すること(4.2.4参照)。						
264	5.6.1		L31	OPF-VER1	ソフトウェアプロセスの開発と改善の活動は、上級管理層によって定期的にレビューされる。	3-6	OPF-SP1.2	組織のプロセスを定期的かつ必要に応じてアセスメントし、組織のプロセスの強みおよび弱みの理解を維持する。
265	5.6.2	5.6.2 マネジメントレビューへのインプット						
266	5.6.2	マネジメントレビューへのインプットには次の情報を含むこと。						
267	5.6.2	a) 監査の結果						
268	5.6.2	b) 顧客からのフィードバック						
269	5.6.2	c) プロセスの実施状況及び製品の適合性						
270	5.6.2	d) 予防処置及び是正処置の状況						
271	5.6.2	e) 前回までのマネジメントレビューの結果に対するフォローアップ						
272	5.6.2	f) 品質マネジメントシステムに影響を及ぼす可能性のある変更						
273	5.6.2	g) 改善のための提案						
274	5.6.2		L25	SQA-COM1	5.3参照	3-6	OPF-SP1.2	組織のプロセスを定期的かつ必要に応じてアセスメントし、組織のプロセスの強みおよび弱みの理解を維持する。
275	5.6.2		L26	SCM-COM1	5.3参照			
276	5.6.3	5.6.3 マネジメントレビューからのアウトプット						
277	5.6.3	マネジメントレビューからのアウトプットには、次の事項に関する決定及び処置を含むこと。						
278	5.6.3	a) 品質マネジメントシステム及びそのプロセスの有効性の改善						
279	5.6.3	b) 顧客要求事項への適合に必要な製品の改善						

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

	ISO9001		SW - CMM			CMMI		
280	5.6.3	c) 資源の必要性						
281	5.6.3					3-6	OPF-SP1.3	組織のプロセスおよび関連プロセス資産に対する改善策を特定する。
282	6.1	6.1 資源の提供						
283	6.1	組織は、次の事項に必要な資源を明確にし、提供すること。						
284	6.1	a) 品質マネジメントシステムを実施し、維持する。また、その有効性を継続的に改善する。						
285	6.1	b) 顧客満足を、顧客要求事項を満たすことによって向上する。						
286	6.1		L21	RM-ABL3	割り当てられた要件を管理するために、適切な資源と資金が提供される。	2-1	REQM-GP2.3-AB2	「要件管理」プロセスを実施し、作業成果物を開発し、そしてプロセスのサービスを提供するための必要十分な資源を提供する。
287	6.1		L23	PT0-ABL3	ソフトウェアプロジェクトの進捗を確認するために、適切な資源と資金が提供される。	2-2	PP-SP2.4	プロジェクトを実施するために必要な資源を計画する。
288	6.1		L24	SSM-ABL1	ソフトウェア外注先の選定と外注管理のために、適切な資源と資金が提供される。	2-2	PP-SP3.2	利用可能な資源および予想された資源を反映するようにプロジェクト計画を調和させる。
289	6.1		L25	SQA-ABL2	SQA活動を実施するために、適切な資源と資金が提供される。	2-2	PP-GP2.3-AB2	プロジェクト計画策定プロセスを実施し、作業成果物を開発し、そしてプロセスのサービスを提供するために十分な資源を提供する。
290	6.1		L31	OPF-ABL2	組織のソフトウェアプロセス活動のために、適切な資源と資金が提供される。	2-3	PMC-GP2.3-AB2	「プロジェクトの監視と制御」プロセスを実施し、作業成果物を開発し、そしてプロセスのサービスを提供するための必要十分な資源を提供する。
291	6.1		L32	OPD-ABL1	「組織の標準ソフトウェアプロセス」ならびに関連するプロセス資産を開発し維持するために、適切な資源と資金が提供される。	2-4	SAM-GP2.3-AB2	「供給者合意管理」プロセスを実施し、作業成果物を開発し、そしてプロセスのサービスを提供するための必要十分な資源を提供する。
292	6.1		L33	TP-ABL2	トレーニングプログラムを履行するために、適切な資源と資金が提供される。	2-5	MA-GP2.3-AB2	「測定と分析」プロセスを実施し、作業成果物を開発し、そしてプロセスのサービスを提供するための必要十分な資源を提供する。
293	6.1		L34	ISM-ABL1	「プロジェクトの定義されたソフトウェアプロセス」を用いたソフトウェアプロジェクト管理のために、適切な資源と資金が提供される。	2-6	PPQA-GP2.3-AB2	「プロセスと成果物の品質保証」プロセスを実施し、作業成果物を開発し、そしてプロセスのサービスを提供するための必要十分な資源を提供する。
294	6.1		L35	SPE-ABL1	ソフトウェアエンジニアリングタスクを実施するために、適切な資源と資金が提供される。	2-7	CM-GP2.3-AB2	「構成管理」プロセスを実施し、作業成果物を開発し、そしてプロセスのサービスを提供するための必要十分な資源を提供する。

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

	ISO9001		SW - CMM			CMMI		
295	6.1		L36	IC-ABL1	ソフトウェアエンジニアリング活動を他のエンジニアリンググループと調整するために、適切な資源と資金が提供される。	3-1	RD-GP2.3-AB3	「要件開発」プロセスを実施し、作業成果物を開発し、そしてプロセスのサービスを提供するための必要十分な資源を提供する。
296	6.1		L37	PR-ABL1	レビューされる各ソフトウェア作業成果物をピアレビューするために、適切な資源と資金が提供される。	3-2	TS-GP2.3-AB3	「技術解」プロセスを実施し、作業成果物を開発し、そしてプロセスのサービスを提供するための必要十分な資源を提供する。
297	6.1		L41	QPM-ABL2	定量的プロセス管理活動のために適切な資源と資金が提供される。	3-3	PI-GP2.3-AB3	「成果物統合」プロセスを実施し、作業成果物を開発し、そしてプロセスのサービスを提供するための必要十分な資源を提供する。
298	6.1		L42	SQM-ABL1	ソフトウェア成果物の品質を管理するために適切な資源と資金が提供される。	3-4	VER-GP2.3-AB3	「検証」プロセスを実施し、作業成果物を開発し、そしてプロセスのサービスを提供するための必要十分な資源を提供する。
299	6.1		L51	DP-ABL3	プロジェクト及び組織レベルでの欠陥予防活動のために、十分な資源と資金が提供される。	3-5	VAL-GP2.3-AB3	「妥当性確認」プロセスを実施し、作業成果物を開発し、そしてプロセスのサービスを提供するための必要十分な資源を提供する。
300	6.1		L52	TCM-ABL2	組織の技術変更管理活動に責任を持つグループを確立するとともに要員を配置するために、適切な資源と資金が提供される。	3-6	OPF-GP2.3-AB3	「組織プロセス重視」プロセスを実施し、作業成果物を開発し、そしてプロセスのサービスを提供するための必要十分な資源を提供する。
301	6.1		L53	PCM-ABL1	ソフトウェアプロセス改善活動のために、適切な資源と資金が提供される。	3-7	OPD-GP2.3-AB3	「組織プロセス定義」プロセスを実施し、作業成果物を開発し、そしてプロセスのサービスを提供するための必要十分な資源を提供する。
302	6.1					3-8	OT-GP2.3-AB3	「組織トレーニング」プロセスを実施し、作業成果物を開発し、そしてプロセスのサービスを提供するための必要十分な資源を提供する。
303	6.1					3-9	IPM-GP2.3-AB3	「統合プロジェクト管理」プロセスを実施し、作業成果物を開発し、そしてプロセスのサービスを提供するための必要十分な資源を提供する。
304	6.1					3-10	RSKM-GP2.3-AB3	「リスク管理」プロセスを実施し、作業成果物を開発し、そしてプロセスのサービスを提供するための必要十分な資源を提供する。
305	6.1					3-11	IT-GP2.3-AB3	「統合チーム編成」プロセスを実施し、作業成果物を開発し、そしてプロセスのサービスを提供するための必要十分な資源を提供する。
306	6.1					3-12	DAR-GP2.3-AB3	「決定分析と解決」プロセスを実施し、作業成果物を開発し、そしてプロセスのサービスを提供するための必要十分な資源を提供する。

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMMI		
307	6.1					3-13	OE-GP2.3-AB3	「統合のための組織環境」プロセスを実施し、作業成果物を開発し、そしてプロセスのサービスを提供するための必要十分な資源を提供する。
308	6.1					4-1	OPP-GP2.3-AB2	組織プロセス実績プロセスを実施し、作業成果物を開発し、そしてプロセスのサービスを提供するために十分な資源を提供する。
309	6.1					4-2	QPM-GP2.3-AB2	定量的プロジェクト管理プロセスを実施し、作業成果物を開発し、そしてプロセスのサービスを提供するために十分な資源を提供する。
310	6.1					5-1	OID-GP2.3-AB2	組織改革と展開プロセスを実施し、作業成果物を開発し、そしてプロセスのサービスを提供するために十分な資源を提供する。
311	6.1					5-2	CAR-GP2.3-AB2	原因分析と解決プロセスを実施し、作業成果物を開発し、そしてプロセスのサービスを提供するために十分な資源を提供する。
312	6.2	6.2 人的資源						
313	6.2					2-2	PP-SP2.4	プロジェクトを実施するために必要な資源を計画する。
314	6.2					2-2	PP-SP2.5	プロジェクトを実施するために必要な知識およびスキルを計画する。
315	6.2					2-2	PP-SP3.2	利用可能な資源および予想された資源を反映するようにプロジェクト計画を調和させる。
316	6.2.1	6.2.1 一般						
317	6.2.1	製品品質に影響がある仕事に従事する要員は、関連する教育、訓練、技能及び経験を判断の根拠として力量があること。						
318	6.2.1		L21	RM-ABL3	割り当てられた要件を管理するために、適切な資源と資金が提供される。	3-11	IT-SP1.2	チームタスクを実施するために必要な知識、スキル、および職務の専門的知識を特定する。
319	6.2.1					3-11	IT-SP1.3	必要な知識およびスキルに基づいて、適切な要員をチームメンバとして割り当て
320	6.2.1					3-13	OE-SP1.3	統合化プロダクトおよびプロセス開発環境を支援するために必要な特有のスキルを特定する。
321	6.2.2	6.2.2 力量、認識及び教育・訓練						
322	6.2.2	組織は、次の事項を実施すること。						
323	6.2.2	a) 製品品質に影響がある仕事に従事する要員に必要な力量を明確にする。						

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMM I		
324	6.2.2	b) 必要な力量がもてるように教育・訓練し、又は他の処置をとる。						
325	6.2.2	c) 教育・訓練又は他の処置の有効性を評価する。						
326	6.2.2	d) 組織の要員が、自らの活動のもつ意味と重要性を認識し、品質目標の達成に向けて自らどのように貢献できるかを認識することを確実にする。						
327	6.2.2	e) 教育、訓練、技能及び経験について該当する記録を維持する(4.2.4参照)。						
328	6.2.2		L21	RM-ABL4	ソフトウェアエンジニアリンググループや他のソフトウェア関連グループのメンバーは、要件管理活動を実施するためのトレーニングを受ける。	2-1	REQM-GP2.5-AB4	「要件管理」プロセスを実施または支援する人員を必要に応じてトレーニングする。
329	6.2.2		L22	SPP-ABL4	ソフトウェアプロジェクトの計画作業に関わるソフトウェアマネージャ、ソフトウェアエンジニア、およびその他の担当者は、各自の責任領域に適用されるソフトウェアの見積りや計画作業の手順に関するトレーニングを受ける。	2-2	PP-GP2.5-AB4	プロジェクト計画策定プロセスを実施または支援する人員を必要に応じてトレーニングする。
330	6.2.2		L23	PTO-ABL4	ソフトウェアマネージャは、ソフトウェアプロジェクトの技術面ならびに人事面の管理に関するトレーニングを受ける。	2-3	PMC-GP2.5-AB4	「プロジェクトの監視と制御」プロセスを実施または支援する人員を必要に応じてトレーニングする。
331	6.2.2		L23	PTO-ABL5	第一線ソフトウェアマネージャは、ソフトウェアプロジェクトの技術面のオリエンテーションを受ける。	2-4	SAM-GP2.5-AB4	「供給者合意管理」プロセスを実施または支援する人員を必要に応じてトレーニングする。
332	6.2.2		L24	SSM-ABL2	ソフトウェア外注の確立と管理を行うソフトウェアマネージャやその他の個人は、これらの活動を実施するためのトレーニングを受ける。	2-5	MA-GP2.5-AB4	「測定と分析」プロセスを実施または支援する人員を必要に応じてトレーニングする。
333	6.2.2		L24	SSM-ABL3	ソフトウェア外注管理を行うソフトウェアマネージャやその他の個人は、外注契約の技術面に関するオリエンテーションを受ける。	2-6	PPQA-GP2.5-AB4	「プロセスと成果物の品質保証」プロセスを実施または支援する人員を必要に応じてトレーニングする。
334	6.2.2		L25	SQA-ABL3	SQAグループのメンバーは、SQA活動を実施するためのトレーニングを受ける。	2-7	CM-GP2.5-AB4	「構成管理」プロセスを実施または支援する人員を必要に応じてトレーニングする。
335	6.2.2		L25	SQA-ABL4	ソフトウェアプロジェクトに携わるメンバーは、SQAの役割、責任、権限、およびその意義について、オリエンテーションを受ける。	3-1	RD-GP2.5-AB5	「要件開発」プロセスを実施または支援する人員を必要に応じてトレーニングする。

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMMI		
336	6.2.2		L26	SCM-ABL4	SCMグループのメンバは、SCM活動を実施するためのねらい、手順、および手法についてトレーニングを受ける。	3-2	TS-GP2.5-AB5	「技術解」プロセスを実施または支援する人員を必要に応じてトレーニングする。
337	6.2.2		L26	SCM-ABL5	ソフトウェアエンジニアリンググループおよびその他のソフトウェアに関するグループのメンバは、SCM活動を実施するためのトレーニングを受ける。	3-3	PI-GP2.5-AB4	「成果物統合」プロセスを実施または支援する人員を必要に応じてトレーニングする。
338	6.2.2		L31	OPF-ABL3	組織のソフトウェアプロセス活動に責任を持つグループのメンバは、活動実施のための必修トレーニングを受ける。	3-4	VER-GP2.5-AB4	「検証」プロセスを実施または支援する人員を必要に応じてトレーニングする。
339	6.2.2		L31	OPF-ABL4	ソフトウェアエンジニアリンググループや他のソフトウェアに関連するグループのメンバは、組織のソフトウェアプロセス活動とこれらの活動における自分たちの役割についてオリエンテーションを受ける。	3-5	VAL-GP2.5-AB4	「妥当性確認」プロセスを実施または支援する人員を必要に応じてトレーニングする。
340	6.2.2		L31	OPF-ACT6	組織やプロジェクトのソフトウェアプロセスに関するトレーニングを、組織横断的に調整する。	3-6	OPF-GP2.5-AB4	「組織プロセス重視」プロセスを実施または支援する人員を必要に応じてトレーニングする。
341	6.2.2		L32	OPD-ABL2	「組織の標準ソフトウェアプロセス」ならびに関連するプロセス資産を開発し維持する担当者は、これらの活動を実施するための必修トレーニングを受ける。	3-7	OPD-GP2.5-AB4	「組織プロセス定義」プロセスを実施または支援する人員を必要に応じてトレーニングする。
342	6.2.2		L33	TP-ABL3	トレーニンググループのメンバは、各自のトレーニング活動を実施するために必須のスキルと知識を備えている。	3-8	OT-SP1.1	組織の戦術的トレーニングのニーズを確立し維持する。
343	6.2.2		L33	TP-ABL4	ソフトウェアマネージャは、トレーニングプログラムについてオリエンテーションを受ける。	3-8	OT-SP1.2	組織が責任を持つトレーニングのニーズであるか、または個別プロジェクトが支援グループに委ねられるトレーニングのニーズであるかを判断する。
344	6.2.2		L33	TP-ACT1	各ソフトウェアプロジェクトは、そのトレーニングニーズを明記するトレーニング計画を策定し保守する。	3-8	OT-SP1.3	組織トレーニングの戦術的計画を確立し維持する。
345	6.2.2		L33	TP-ACT2	文書化された手順に従って、組織のトレーニング計画を策定し改訂する。	3-8	OT-SP1.4	組織トレーニングのニーズに対応するトレーニング能力を確立し維持する。
346	6.2.2		L33	TP-ACT3	組織のトレーニング計画に従って、組織のトレーニングを実施する。	3-8	OT-SP2.1	組織トレーニング計画に従って、トレーニングを提供する。
347	6.2.2		L33	TP-ACT4	組織レベルで準備するトレーニングコースは、組織標準に従って開発し保守する。	3-8	OT-SP2.2	組織トレーニングの記録を確立し維持する。
348	6.2.2		L33	TP-ACT5	任命された役割を遂行するのに必要な知識とスキルが、すでに個人の身に付いているかどうかを判断するために、必修トレーニングに対する免除手順を確立し使用し維持する。	3-8	OT-SP2.3	組織トレーニングプログラムの有効性をアセスメントする。
349	6.2.2		L33	TP-ACT6	組織トレーニング記録を維持する。	3-8	OT-GP2.5-AB4	「組織トレーニング」プロセスを実施または支援する人員を必要に応じてトレーニングする。

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMMI		
350	6.2.2		L34	ISM-ABL2	「プロジェクトの定義されたソフトウェアプロセス」の開発責任者は、どのように「組織の標準ソフトウェアプロセス」をテラリングし、関連するプロセス資産を利用するかについて、必修トレーニングを受ける。	3-9	IPM-GP2.5-AB4	「統合プロジェクト管理」プロセスを実施または支援する人員を必要に応じてトレーニングする。
351	6.2.2		L34	ISM-ABL3	ソフトウェアマネージャは、ソフトウェアプロジェクトの技術、運営、および人事の各側面に、プロジェクトの定義されたソフトウェアプロセスに基づいた管理についての必修トレーニングを受ける。	3-10	RSKM-GP2.5-AB4	「リスク管理」プロセスを実施または支援する人員を必要に応じてトレーニングする。
352	6.2.2		L35	SPE-ABL2	ソフトウェアエンジニアリングの技術要員メンバは、各自の技術的任務を実施するための必修トレーニングを受ける。	3-11	IT-GP2.5-AB4	「統合チーム編成」プロセスを実施または支援する人員を必要に応じてトレーニングする。
353	6.2.2		L35	SPE-ABL3	ソフトウェアエンジニアリングの技術要員メンバは、関連するソフトウェアエンジニアリング機能についてオリエンテーションを受ける。	3-12	DAR-GP2.5-AB4	「決定分析と解決」プロセスを実施または支援する人員を必要に応じてトレーニングする。
354	6.2.2		L35	SPE-ABL4	プロジェクトマネージャとすべてのソフトウェアマネージャは、ソフトウェアプロジェクトの技術面についてオリエンテーションを受ける。	3-13	OE-GP2.5-AB4	「統合のための組織環境」プロセスを実施または支援する人員を必要に応じてトレーニングする。
355	6.2.2		L36	IC-ABL3	組織のマネージャー全員が、チームワークについての必修トレーニングを受ける。	4-1	OPP-GP2.5-AB4	必要に応じて、組織プロセス実績プロセスを実施または支援する人員をトレーニングする。
356	6.2.2		L36	IC-ABL4	各エンジニアリンググループのタスクリーダー全員が、他のエンジニアリンググループで使用されるプロセス、手法、および標準についてオリエンテーションを受ける。	4-2	QPM-GP2.5-AB4	定量的プロジェクト管理プロセスを実施または支援する人員を必要に応じてトレーニングする。
357	6.2.2		L36	IC-ABL5	エンジニアリンググループのメンバは、チームとして作業することについてオリエンテーションを受ける。	5-1	OID-GP2.5-AB4	組織改革と展開プロセスを実施または支援する人員を必要に応じてトレーニングする。
358	6.2.2		L37	PR-ABL2	ピアレビューのリーダーが、ピアレビューの主導方法についての必修なトレーニングを受ける。	5-2	CAR-GP2.5-AB4	原因分析と解決プロセスを実施または支援する人員を必要に応じてトレーニングする。
359	6.2.2		L37	PR-ABL3	ピアレビューに参加するレビューは、ピアレビューのねらい、原理、および手法についての必修トレーニングを受けている。			
360	6.2.2		L41	QPM-ABL4	定量的プロセス管理を履行あるいは支援する個人は、これらの活動を実施するための必修トレーニングを受ける。			
361	6.2.2		L41	QPM-ABL5	ソフトウェアエンジニアリンググループと他のソフトウェア関連グループのメンバは、定量的プロセス管理の目標と意義に関するオリエンテーションを受ける。			

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMMI		
362	6.2.2		L42	SQM-ABL2	ソフトウェア品質管理を履行し支援する個人は、その活動を実施するための必修トレーニングを受ける。			
363	6.2.2		L42	SQM-ABL3	ソフトウェアエンジニアリンググループと他のソフトウェア関連グループのメンバーは、ソフトウェア品質管理についての必修トレーニングを受ける。			
364	6.2.2		L51	DP-ABL4	ソフトウェアエンジニアリンググループと他のソフトウェア関連グループのメンバーは、欠陥予防活動を実施するための必修トレーニングを受ける。			
365	6.2.2		L52	TCM-ABL5	組織の技術変更管理活動に責任を持つグループのメンバーは、これらの活動を実施するための必修トレーニングを受ける。			
366	6.2.2		L52	TCM-ACT3	ソフトウェアマネージャと技術要員に、常に新技術の情報を通知する。			
367	6.2.2		L53	PCM-ABL2	ソフトウェアマネージャはソフトウェアプロセス改善についての必修トレーニングを受ける。			
368	6.2.2		L53	PCM-ABL3	ソフトウェアエンジニアリンググループと他のソフトウェア関連グループのマネージャと技術要員は、ソフトウェアプロセス改善についての必修トレーニングを受ける。			
369	6.2.2		L53	PCM-ABL4	上級管理層は、ソフトウェアプロセス改善についての必修トレーニングを受け			
370	6.3	6.3 インフラストラクチャー						
371	6.3	組織は、製品要求事項への適合を達成するうえで必要とされるインフラストラクチャーを明確にし、提供し、かつ、維持すること。インフラストラクチャーには次のようなものがある。						
372	6.3	a) 建物、作業場所及び関連するユーティリティ(電気、ガス、水など)						
373	6.3	b) 設備(ハードウェアとソフトウェアとを含む。)						
374	6.3	c) 支援業務(輸送、通信など)						
375	6.3	参考 インフラストラクチャーとは、“<組織>組織の運営のために必要な一連の施設、設備及びサービスに関するシステム”を指す(JIS Q 9000の3.3.3参照)。						

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMMI		
376	6.3		L21	RM-ABL3	割り当てられた要件を管理するために、適切な資源と資金が提供される。	2-2	PP-SP2.4	プロジェクトを実施するために必要な資源を計画する。
377	6.3		L22	SPP- ACT14	7.3.1参照	2-2	PP-SP3.2	利用可能な資源および予想された資源を反映するようにプロジェクト計画を調和させる。
378	6.3		L23	PT0-ACT7	8.2.3参照	3-3	PI-SP1.2	プロダクトコンポーネントの統合を支援するために必要な環境を確立し維持する。
379	6.3		L26	SCM-ACT3	7.1参照	3-4	VER-SP1.2	検証を支援するために必要な環境を確立し維持する。
380	6.3		L31	OPF-ACT5	組織で限定的に使用される新しいプロセス、手法、およびツールを、モニターし、評価し、そして適切であれば組織の他の部分に移転させる。	3-5	VAL-SP1.2	妥当性確認を支援するために必要な環境を確立し維持する。
381	6.3		L32	OPD-ACT5	「組織のソフトウェアプロセスデータベース」を確立し維持する。	3-7	OPD-SP1.4	組織測定リポジトリを確立し維持する。
382	6.3		L32	OPD-ACT6	「ソフトウェアプロセス関連文書のライブラリ」を確立し維持する。	3-7	OPD-SP1.5	プロセス関連資産の組織のライブラリを確立し維持する。
383	6.3		L36	IC-ABL2	異なったエンジニアリンググループで用いられる各支援ツールは整合しており効果的な伝達や調整が可能である。	3-9	IPM-SP1.2	プロジェクト活動の見積りおよび計画策定のために、組織プロセス資産および測定リポジトリを使用する。
384	6.3		L41	QPM-ABL3	選択されたプロセスおよび成果物の計測のためのデータの収集、記録、および分析に対する支援が存在する。	3-13	OE-SP1.2	協働作業およびコンカレント開発を可能にすることによって、統合化プロダクトおよびプロセス開発を支援する統合された作業環境を確立し維持する。
385	6.3		L52	TCM-ABL3	技術変更の評価で必要となるデータを、収集し分析するための支援が存在する。			
386	6.3		L52	TCM-ABL4	技術変更の評価と選択の分析を支援するために、ソフトウェアプロセスとソフトウェア作業成果物に関する適切なデータが利用可能である。			
387	6.4	6.4 作業環境						
388	6.4	組織は、製品要求事項への適合を達成するために必要な作業環境を明確にし、運営管理すること。						
389	6.4		L21	RM-ABL3	割り当てられた要件を管理するために、適切な資源と資金が提供される。	2-2	PP-SP2.4	プロジェクトを実施するために必要な資源を計画する。
390	6.4		L41	QPM-ABL3	選択されたプロセスおよび成果物の計測のためのデータの収集、記録、および分析に対する支援が存在する。	2-2	PP-SP3.2	利用可能な資源および予想された資源を反映するようにプロジェクト計画を調和させる。
391	6.4		L52	TCM-ABL3	技術変更の評価で必要となるデータを、収集し分析するための支援が存在する。	3-3	PI-SP1.2	プロダクトコンポーネントの統合を支援するために必要な環境を確立し維持する。

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

	ISO9001		SW - CMM			CMMI		
392	6.4					3-4	VER-SP1.2	検証を支援するために必要な環境を確立し維持する。
393	6.4					3-5	VAL-SP1.2	妥当性確認を支援するために必要な環境を確立し維持する。
394	6.4					3-13	OE-SP1.2	協働作業およびコンカレント開発を可能にすることによって、統合化プロダクトおよびプロセス開発を支援する統合された作業環境を確立し維持する。
395	6.4					3-13	OE-SP2.2	組織のあらゆるレベルで、統合的かつ協働的な行動を採用し実証することの報奨を確立し維持する。
396	7.1	7.1 製品実現の計画						
397	7.1	組織は、製品実現のために必要なプロセスを計画して、構築すること。製品実現の計画は、品質マネジメントシステムのその他のプロセスの要求事項と整合性がとれていること (4.1参照)。						
398	7.1	製品実現の計画に当たっては、組織は次の事項について該当するものを明確にすること。						
399	7.1	a) 製品に対する品質目標及び要求事項						
400	7.1	b) 製品に特有な、プロセス及び文書の確立の必要性、並びに資源の提供の必要性						
401	7.1	c) その製品ののための検証、妥当性確認、監視、検査及び試験活動、並びに製品合否判定基準						
402	7.1	d) 製品実現のプロセス及びその結果としての製品が要求事項を満たしていることを実証するために必要な記録 (4.2.4参照)						
403	7.1	この計画のアウトプットは、組織の計画の実行に適した様式であること。						
404	7.1	参考1. 特定の製品、プロジェクト又は契約に適用される品質マネジメントシステムのプロセス(製品実現のプロセスを含む。)及び資源を規定する文書を品質計画書と呼ぶことがある。						

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMM I		
405	7.1	2. 組織は、製品実現のプロセスの構築に当たって7.3に規定する要求事項を適用してもよい。						
406	7.1		L21	RM-ABL1	各プロジェクトに対し、システム要件を分析し、それらをハードウェア、ソフトウェア、および他のシステムコンポーネントに割り当てる責任が確立される。	2-1	REQM-SP1.4	要件とプロジェクト計画および作業成果物の双方向の追跡可能性を維持する。
407	7.1		L22	SPP-ABL3	ソフトウェアプロジェクトを計画するために、適切な資源と資金が提供される。	2-1	REQM-GP2.2-AB1	「要件管理」プロセスを実施するための計画を確立し維持する。
408	7.1		L22	SPP-ACT5	あらかじめ定義された管理可能な大きさのステージを持つソフトウェアライフサイクルを特定または定義する。	2-1	REQM-GP2.7-D12	「要件管理」プロセスの直接の利害関係者を計画どおりに特定し関与させる。
409	7.1		L22	SPP-ACT3	ソフトウェアエンジニアグループは他の影響を受けるグループとともに、プロジェクトの全期間にわたってプロジェクト全体計画に参加する。	2-2	PP-SP1.1	プロジェクトの範囲の見積りに対する最上位レベルのワークブレイクダウンストラクチャ(Work Breakdown Structure)を確立し維持する。
410	7.1		L26	SCM-ACT3	ソフトウェアベースラインのリポジトリとして、構成管理ライブラリシステムを構築する。	2-2	PP-SP1.2	作業成果物およびタスクの属性の見積りを確立し文書化する。
411	7.1		L26	SCM-ABL3	SCM 活動を実施するために、適切な資源と資金が提供される。	2-2	PP-SP1.3	計画策定作業の範囲を決定するプロジェクトライフサイクルフェーズを定義する。
412	7.1		L34	ISM-ACT1	文書化された手順に従って「組織の標準ソフトウェアプロセス」をテラリングすることにより、「プロジェクトの定義されたソフトウェアプロセス」を開発する。	2-2	PP-SP1.4	見積りの論理的根拠に基づいて、作業成果物およびタスクの属性に対するプロジェクト工数および費用を見積る。
413	7.1		L22	SPP-ACT2	ソフトウェアプロジェクト計画の策定は、プロジェクト全体計画の早期段階から、かつ平行して開始する。	2-2	PP-SP2.1	プロジェクトの予算およびスケジュールを確立し維持する。
414	7.1		L22	SPP-ACT6	プロジェクトのソフトウェア開発計画は、文書化された手順に従って策定する。	2-2	PP-SP2.2	プロジェクトリスクを特定し分析する。
415	7.1		L22	SPP-ACT7	ソフトウェアプロジェクト計画を文書化する。	2-2	PP-SP2.3	プロジェクトデータの管理を計画する。
416	7.1		L22	SPP-ABL1	ソフトウェアプロジェクトに関して、文書化され承認された作業内容記述書が存在する。	2-2	PP-SP2.4	プロジェクトを実施するために必要な資源を計画する。
417	7.1		L25	SQA-ACT1	ソフトウェアプロジェクトのSQA計画は、文書化された手順に従って作成する。	2-2	PP-SP2.5	プロジェクトを実施するために必要な知識およびスキルを計画する。
418	7.1		L26	SCM-ACT1	SCM 計画は、文書化された手順に従ってソフトウェアプロジェクト個別に作成する。	2-2	PP-SP2.6	特定された利害関係者の関与を計画する。
419	7.1		L34	ISM-ACT5	「組織のソフトウェアプロセスデータベース」は、ソフトウェアの計画と見積りに使用する。	2-2	PP-SP2.7	全体的なプロジェクト計画の内容を確立し維持する。

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

	ISO9001			SW - CMM			CMMI		
420	7.1		L35	SPE-ACT1	適切なソフトウェアエンジニアリングの手法とツールを、「プロジェクトの定義されたソフトウェアプロセス」に統合す	2-2	PP-SP3.1	従属計画をレビューし、プロジェクトのコミットメントを理解する。	
421	7.1		L35	SPE-ACT10	ソフトウェア作業成果物をおして首尾一貫性を保つ。ソフトウェア作業成果物には、ソフトウェア計画、プロセス記述、割り当てられた要件、ソフトウェア要件、ソフトウェア設計、コード、テスト計画、およびテスト手順が含まれる。	2-2	PP-SP3.2	利用可能な資源および予想された資源を反映するようにプロジェクト計画を調和させる。	
422	7.1		L21	RM-ACT2	ソフトウェアエンジニアリンググループは、ソフトウェア計画、作業成果物、および活動の基盤として、割り当てられた要件を使用する。	2-2	PP-SP3.3	計画の実行を実施し支援する責任のある直接の利害関係者からコミットメントを獲得する。	
423	7.1		L22	SPP-ACT8	7.3.1参照	2-2	PP-GP2.2-AB1	要件および目標を確立し、維持し、そしてプロジェクト計画策定プロセスの実施を計画する。	
424	7.1		L22	SPP-ACT9	7.3.1参照	2-2	PP-GP2.7-DI2	計画どおりに、プロジェクト計画策定プロセスの直接の利害関係者を特定し関与させる。	
425	7.1		L22	SPP-ACT10	7.3.1参照	2-2	PP-GP2.2-AB1	「プロジェクト計画策定」プロセスを実施するための計画を確立し維持する。	
426	7.1		L22	SPP-ACT11	7.3.1参照	2-2	PP-GP2.7-DI2	「プロジェクト計画策定」プロセスの直接の利害関係者を計画どおりに特定し関与させる。	
427	7.1		L22	SPP-ACT12	7.3.1参照	2-3	PM-GP2.2-AB1	「プロジェクトの監視と制御」プロセスを実施するための計画を確立し維持す	
428	7.1		L22	SPP-ACT13	7.3.1参照	2-3	PM-GP2.7-DI2	「プロジェクトの監視と制御」プロセスの直接の利害関係者を計画どおりに特定し関与させる。	
429	7.1		L22	SPP-ACT14	7.3.1参照	2-4	SAM-GP2.2-AB1	「供給者合意管理」プロセスを実施するための計画を確立し維持する。	
430	7.1		L35	SPE-ACT7	7.3.6参照	2-4	SAM-GP2.7-DI2	「供給者合意管理」プロセスの直接の利害関係者を計画どおりに特定し関与させ	
431	7.1		L22	SPP-ACT4	上級管理者は組織外の個人とグループに対してなされたソフトウェアプロジェクトのコミットメントを、文書化された手順に従ってレビューする。	2-5	MA-GP2.2-AB1	「測定と分析」プロセスを実施するための計画を確立し維持する。	
432	7.1		L25	SQA-ACT3	SQAグループは、プロジェクトのソフトウェア開発計画、標準、および手順の作成とレビューに参加する。	2-5	MA-GP2.7-DI2	「測定と分析」プロセスの直接の利害関係者を計画どおりに特定し関与させる。	
433	7.1		L34	ISM-ACT3	プロジェクトのソフトウェア開発計画は、「プロジェクトの定義されたソフトウェアプロセス」の使用を記述するものであり、文書化された手順に従って策定し改訂する。	2-6	PPQA-GP2.2-AB1	「プロセスと成果物の品質保証」プロセスを実施するための計画を確立し維持する。	

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			S W - C M M			C M M I		
434	7.1		L34	ISM-ACT2	それぞれの「プロジェクトの定義されたソフトウェアプロセス」は、文書化された手順に従って改訂する。	2-6	PPQA-GP2.7-DI2	「プロセスと成果物の品質保証」プロセスの直接の利害関係者を計画どおりに特定し関与させる。
435	7.1		L26	SCM-ACT2	文書化され承認された SCM 計画を、SCM 活動の基盤として使用する。	2-7	CM-GP2.2-AB1	「構成管理」プロセスを実施するための計画を確立し維持する。
436	7.1		L34	ISM-ACT4	「プロジェクトの定義されたソフトウェアプロセス」に従って、ソフトウェアプロジェクトを管理する。	2-7	CM-GP2.7-DI2	「構成管理」プロセスの直接の利害関係者を計画どおりに特定し関与させる。
437	7.1		L36	IC-ACT3	グループ間のコミットメントの伝達、および実施される作業の調整と進捗の確認のため、文書化された計画を使用する。	3-1	RD-GP2.2-AB2	「要件開発」プロセスを実施するための計画を確立し維持する。
438	7.1		L34	ISM-ACT6	7.3.1参照	3-1	RD-GP2.7-DI2	「要件開発」プロセスの直接の利害関係者を計画どおりに特定し関与させる。
439	7.1		L34	ISM-ACT7	7.3.1参照	3-2	TS-GP2.2-AB2	「技術解」プロセスを実施するための計画を確立し維持する。
440	7.1		L34	ISM-ACT8	7.3.1参照	3-2	TS-GP2.7-DI2	「技術解」プロセスの直接の利害関係者を計画どおりに特定し関与させる。
441	7.1		L34	ISM-ACT9	7.3.1参照	3-3	PI-SP1.1	プロダクトコンポーネントの統合のための戦略を確立し維持する。
442	7.1		L34	ISM-ACT10	7.3.1参照	3-3	PI-SP1.2	プロダクトコンポーネントの統合を支援するために必要な環境を確立し維持する。
443	7.1		L41	QPM-ACT1	定量的プロセス管理に対するソフトウェアプロジェクト計画は、文書化された手順に従って策定する。	3-3	PI-GP2.2-AB2	「成果物統合」プロセスを実施するための計画を確立し維持する。
444	7.1		L41	QPM-ACT2	ソフトウェアプロジェクトの定量的プロセス管理活動は、プロジェクトの定量的プロセス管理計画に従って実施する。	3-3	PI-GP2.7-DI2	「成果物統合」プロセスの直接の利害関係者を計画どおりに特定し関与させる。
445	7.1		L41	QPM-ACT3	実施するデータ収集と定量的分析の戦略は、「プロジェクトの定義されたソフトウェアプロセス」に基づいて決定する。	3-4	VER-GP2.2-AB2	「検証」プロセスを実施するための計画を確立し維持する。
446	7.1		L41	QPM-VER2	定量的プロセス管理に対するソフトウェアプロジェクトの活動は、プロジェクトマネージャによって定期的に、かつイベント発生を契機としてレビューされる。	3-4	VER-GP2.7-DI2	「検証」プロセスの直接の利害関係者を計画どおりに特定し関与させる。
447	7.1		L42	SQM-ACT1	プロジェクトのソフトウェア品質計画は、文書化された手順に従って策定し保守する。	3-5	VAL-SP1.1	妥当性確認戦略を確立し維持する。
448	7.1		L42	SQM-VER2	ソフトウェア品質管理の活動は、プロジェクトマネージャによって定期的に、かつイベント発生を契機としてレビュー	3-5	VAL-SP1.2	妥当性確認を支援するために必要な環境を確立し維持する。
449	7.1		L51	DP-ACT1	ソフトウェアプロジェクトは、欠陥予防活動のための計画を策定し保守する。	3-5	VER-GP2.2-AB2	「妥当性確認」プロセスを実施するための計画を確立し維持する。
450	7.1		L51	DP-ACT2	ソフトウェアタスクの開始時に、そのタスクを実行するチームのメンバはソフトウェアタスクの活動の準備と、関連する欠陥予防活動の準備について打ち合わせ	3-5	VER-GP2.7-DI2	「妥当性確認」プロセスの直接の利害関係者を計画どおりに特定し関与させる。

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

	ISO9001		SW - CMM			CMMI		
451	7.1		L42	SQM-ACT2	プロジェクトのソフトウェア品質計画が、プロジェクトのソフトウェア品質管理活動の基礎である。	3-6	OPF-GP2.2-AB2	「組織プロセス重視」プロセスを実施するための計画を確立し維持する。
452	7.1					3-6	OPF-GP2.7-D12	「組織プロセス重視」プロセスの直接の利害関係者を計画どおりに特定し関与させる。
453	7.1					3-7	OPD-GP2.2-AB2	「組織プロセス定義」プロセスの直接の利害関係者を計画どおりに特定し関与させる。
454	7.1					3-7	OPD-GP2.7-D12	「組織プロセス定義」プロセスの直接の利害関係者を計画どおりに特定し関与させる。
455	7.1					3-8	OT-GP2.2-AB2	「組織トレーニング」プロセスの直接の利害関係者を計画どおりに特定し関与させる。
456	7.1					3-8	OT-GP2.7-D12	「組織トレーニング」プロセスの直接の利害関係者を計画どおりに特定し関与させる。
457	7.1					3-9	IPM-SP1.1	プロジェクトの定義されたプロセスを確立し維持する。
458	7.1					3-9	IPM-SP1.2	プロジェクト活動の見積りおよび計画策定のために、組織プロセス資産および測定リポジトリを使用する。
459	7.1					3-9	IPM-SP1.3	プロジェクト計画と従属計画を統合し、プロジェクトの定義されたプロセスを記述する。
460	7.1					3-9	IPM-SP1.4	プロジェクト計画、従属計画、およびプロジェクトの定義されたプロセスを使用してプロジェクトを管理する。
461	7.1					3-9	IPM-SP2.1	直接の利害関係者のプロジェクトへの関与を管理する。
462	7.1					3-9	IPM-SP2.2	直接の利害関係者と連携して、重要な依存関係を特定し、協議し、そして追跡する。
463	7.1					3-9	IPM-SP2.3	直接の利害関係者とともに課題を解決する。
464	7.1					3-9	IPM-SP3.1	プロジェクトの共有ビジョンに適用される期待、制約、インタフェース、および運用条件を特定する。
465	7.1					3-9	IPM-SP3.2	プロジェクトの共有ビジョンを確立し維持する。
466	7.1					3-9	IPM-SP4.1	プロジェクトの目標および制約を最も的確に満たす統合チーム構造を決定する。
467	7.1					3-9	IPM-SP4.2	選択された統合チーム構造のチームに対する要件、責任、権限、タスク、およびインタフェースの予備的な割り当てを実施する。

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

	ISO9001		SW - CMM			CMMI		
468	7.1					3-9	IPM-SP4.3	統合チーム構造のチームを確立し維持する。
469	7.1					3-9	IPM-GP2.2-AB2	「統合プロジェクト管理」プロセスの直接の利害関係者を計画どおりに特定し関与させる。
470	7.1					3-9	IPM-GP2.7-DI2	「統合プロジェクト管理」プロセスの直接の利害関係者を計画どおりに特定し関与させる。
471	7.1					3-10	RSKM-SP1.1	リスク源および分類を判断する。
472	7.1					3-10	RSKM-SP1.2	リスクを分析し分類するために使用するパラメータ、およびリスク管理作業を制御するために使用するパラメータを定義
473	7.1					3-10	RSKM-SP1.3	リスク管理のために使用する戦略および手法を確立し維持する。
474	7.1					3-10	RSKM-SP2.1	リスクを特定し文書化する。
475	7.1					3-10	RSKM-SP2.2	リスクが定義された分類およびパラメータを使用して、特定された各リスクを評価し、分類し、そして相対的な優先順位を決定する。
476	7.1					3-10	RSKM-SP3.1	リスク管理戦略による定義に従って、プロジェクトに対する最も重大なリスクに関するリスク軽減計画を策定する。
477	7.1					3-10	RSKM-GP2.2-AB2	「リスク管理」プロセスの直接の利害関係者を計画どおりに特定し関与させる。
478	7.1					3-10	RSKM-GP2.7-DI2	「リスク管理」プロセスの直接の利害関係者を計画どおりに特定し関与させる。
479	7.1					3-11	IT-SP1.1	チームの期待される結果を生成する特定の内部タスクを特定し定義する。
480	7.1					3-11	IT-SP1.2	チームタスクを実施するために必要な知識、スキル、および職務の専門的知識を特定する。
481	7.1					3-11	IT-SP1.3	必要な知識およびスキルに基づいて、適切な要員をチームメンバとして割り当て
482	7.1					3-11	IT-SP2.1	包括的または上位レベルのビジョンと調節された、統合チームの共有ビジョンを確立し維持する。
483	7.1					3-11	IT-SP2.2	統合チームの共有ビジョンおよび全体的なチーム目標に基づいて、チーム要綱を確立し維持する。
484	7.1					3-11	IT-SP2.3	各チームメンバの役割および責任を明確に定義し維持する。
485	7.1					3-11	IT-SP2.4	統合チームの運用手順を確立し維持す
486	7.1					3-11	IT-SP2.5	インタフェースチーム間の協力関係を確立し維持する。
487	7.1					3-11	IT-GP2.2-AB2	「統合チーム編成」プロセスの直接の利害関係者を計画どおりに特定し関与させ

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

	ISO9001		SW - CMM			CMMI		
488	7.1					3-11	IT-GP2.7-DI2	「統合チーム編成」プロセスの直接の利害関係者を計画どおりに特定し関与させ
489	7.1					3-12	DAR-SP1.1	構造化された決定分析と解決プロセスの対象となる課題を決定するためのガイドラインを確立し使用する。
490	7.1					3-12	DAR-SP1.2	意思決定技法を選択する。
491	7.1					3-12	DAR-SP1.3	評価基準およびその相対的な順位付けを確立する。
492	7.1					3-12	DAR-SP1.4	課題に対する選択肢を特定する。
493	7.1					3-12	DAR-SP1.5	文書化された基準を使用して選択肢を評価する。
494	7.1					3-12	DAR-SP1.6	評価基準に基づいて選択肢から解決策を選択する。
495	7.1					3-12	DAR-GP2.2-AB2	「決定分析と解決」プロセスの直接の利害関係者を計画どおりに特定し関与させ
496	7.1					3-12	DAR-GP2.7-DI2	「決定分析と解決」プロセスの直接の利害関係者を計画どおりに特定し関与させ
497	7.1					3-13	OE-SP1.1	組織の共有ビジョンを確立し維持する。
498	7.1					3-13	OE-SP1.2	協働作業およびコンカレント開発を可能にすることによって、統合化プロダクトおよびプロセス開発を支援する統合された作業環境を確立し維持する。
499	7.1					3-13	OE-SP1.3	統合化プロダクトおよびプロセス開発環境を支援するために必要な特有のスキルを特定する。
500	7.1					3-13	OE-GP2.2-AB2	「統合のための組織環境」プロセスの直接の利害関係者を計画どおりに特定し関与させる。
501	7.1					3-13	OE-GP2.7-DI2	「統合のための組織環境」プロセスの直接の利害関係者を計画どおりに特定し関与させる。
502	7.1					4-2	QPM-SP1.1	プロジェクトの品質およびプロセス実績目標を確立し維持する。
503	7.1					4-2	QPM-SP1.2	安定性および能力の履歴データに基づいて、プロジェクトの定義されたプロセスを構成するプロセスおよびプロセス要素を選択する。
504	7.1					4-2	QPM-SP1.3	統計的に管理されるプロジェクトの定義されたプロセスのサブプロセスを選択する。
505	7.1					4-2	QPM-SP1.4	プロジェクトを監視して、品質およびプロセス実績に関するプロジェクトの目標が満たされるかどうかを判断し、適宜是正処置をとる。
506	7.2	7.2 顧客関連のプロセス						
507	7.2.1	7.2.1 製品に関連する要求事項の明確化						

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMM I		
508	7.2.1	組織は、次の事項を明確にすること。						
509	7.2.1	a) 顧客が規定した要求事項。これには引渡し及び引渡し後の活動に関する要求事項を含む。						
510	7.2.1	b) 顧客が明示してはいないが、指定された用途又は意図された用途が既知である場合、それらの用途に応じた要求事項						
511	7.2.1	c) 製品に関連する法令・規制要求事項						
512	7.2.1	d) 組織が必要と判断する追加要求事項						
513	7.2.1		L35	SPE-ACT2	「プロジェクトの定義されたソフトウェアプロセス」に従って割り当てられた要件を系統的に分析することにより、ソフトウェア要件を開発し、保守し、文書化し、そして検証する。	2-1	REQM-SP1.1	要件の意味に関して要件提供者の理解を得る。
514	7.2.1		L22	SPP-ACT1	ソフトウェアエンジニアグループはプロジェクト提案チームに参加する。	2-1	REQM-SP1.3	プロジェクト存続中の要件の進化に伴う要件の変更を管理する。
515	7.2.1		L36	IC-ACT1	ソフトウェアエンジニアリンググループとその他のエンジニアリンググループは、顧客やエンドユーザなどと適宜連携し、システム要件を確立する。	2-1	REQM-SP1.4	要件とプロジェクト計画および作業成果物の双方向の追跡可能性を維持する。
516	7.2.1		L21	RM-ACT2	ソフトウェアエンジニアリンググループは、ソフトウェア計画、作業成果物、および活動の基盤として、割り当てられた要件を使用する。	3-1	RD-SP1.1	プロダクトライフサイクルのすべてのフェーズについて、利害関係者のニーズ、期待、制約、およびインタフェースを引き出す。
517	7.2.1		L21	RM-ABL2	割り当てられた要件が文書化される。	3-1	RD-SP1.2	利害関係者のニーズ、期待、制約、およびインタフェースを顧客要件に変換する。
518	7.2.1		L21	RM-VER3	ソフトウェア品質保証グループは、割り当てられた要件の管理活動と作業成果物をレビューかつ/または監査し、その結果を報告する。	3-1	RD-SP3.1	運用的な考え方およびシナリオを確立し維持する。
519	7.2.1		L23	PTO-ACT3	上級管理層は、組織外のグループと個人に対するソフトウェアプロジェクトのコミットメントおよびコミットメントに対する変更を、文書化された手順に従ってレビューする。	3-1	RD-SP3.2	必要な機能性の定義を確立し維持する。
520	7.2.1		L23	PTO-ACT4	承認されたコミットメントの変更がソフトウェアプロジェクトに影響をおよぼす場合、その変更をソフトウェアエンジニアリンググループおよび他のソフトウェア関連グループメンバーに伝達する。	3-1	RD-SP3.4	プロダクト開発のライフサイクル費用、スケジュール、およびリスクの低減を目標として、要件を分析する。
521	7.2.2	7.2.2 製品に関連する要求事項のレビュー						

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMM I		
522	7.2.2	組織は、製品に関連する要求事項をレビューすること。このレビューは、組織が顧客に製品を提供することについてのコミットメント(例 提案書の提出、契約又は注文の受諾、契約又は注文への変更の受諾)をする前に実施すること。レビューでは次の事項を確実にすること。						
523	7.2.2	a) 製品要求事項が定められている。						
524	7.2.2	b) 契約又は注文の要求事項が以前に提示されたものと異なる場合には、それについて解決されている。						
525	7.2.2	c) 組織が、定められた要求事項を満たす能力をもっている。						
526	7.2.2	このレビューの結果の記録及びそのレビューを受けてとられた処置の記録を維持すること(4.2.4参照)。						
527	7.2.2	顧客がその要求事項を書面で示さない場合には、組織は顧客要求事項を受諾する前に確認すること。						
528	7.2.2	製品要求事項が変更された場合には、組織は、関連する文書を修正すること。また、変更後の要求事項が関連する要員に理解されていることを確実にすること。						
529	7.2.2	参考 インターネット販売などの状況では、個別の注文に対する正式なレビューの実施は非現実的である。このような場合のレビューでは、カタログや宣伝広告資料などの関連する製品情報をその対象とすることもできる。						
530	7.2.2		L35	SPE-ACT2	「プロジェクトの定義されたソフトウェアプロセス」に従って割り当てられた要件を系統的に分析することにより、ソフトウェア要件を開発し、保守し、文書化し、そして検証する。	2-1	REQM-SP1.2	プロジェクト参加者から要件に対するコミットメントを獲得する。
531	7.2.2		L36	IC-ACT1	ソフトウェアエンジニアリンググループとその他のエンジニアリンググループは、顧客やエンドユーザなどと適宜連携し、システム要件を確立する。	2-1	REQM-SP1.3	プロジェクト存続中の要件の進化に伴う要件の変更を管理する。

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

	ISO9001		SW - CMM			CMMI		
532	7.2.2		L21	RM-ACT1	ソフトウェアエンジニアリンググループは、割り当てられた要件がソフトウェアプロジェクトに組み込まれる前の段階でレビューする。	3-1	RD-SP3.3	導き出された要件を分析し、要件が必要かつ十分であることを確実にする。
533	7.2.2		L21	RM-ACT3	割り当てられた要件への変更をレビューし、ソフトウェアプロジェクトに組み込む。			
534	7.2.3	7.2.3 顧客とのコミュニケーション						
535	7.2.3	組織は、次の事項に関して顧客とのコミュニケーションを図るための効果的な方法を明確にし、実施すること。						
536	7.2.3	a) 製品情報						
537	7.2.3	b) 引き合い、契約若しくは注文、又はそれらの変更						
538	7.2.3	c) 苦情を含む顧客からのフィードバック						
539	7.3	7.3 設計・開発						
540	7.3		L35	SPE-ACT3	ソフトウェア要件に適応し、コーディングに対する枠組みを形成するため、「プロジェクトの定義されたソフトウェアプロセス」に従って、ソフトウェア設計を開発し、保守し、文書化し、そして検証			
541	7.3		L35	SPE-ACT4	ソフトウェア要件とソフトウェア設計を実装するため、「プロジェクトの定義されたソフトウェアプロセス」に従ってソフトウェアコードを開発し、保守し、文書化し、そして検証する。			
542	7.3.1	7.3.1 設計・開発の計画						
543	7.3.1	組織は、製品の設計・開発の計画を策定し、管理すること。						
544	7.3.1	設計・開発の計画において、組織は次の事項を明確にすること。						
545	7.3.1	a) 設計・開発の段階						
546	7.3.1	b) 設計・開発の各段階に適したレビュー、検証及び妥当性確認						
547	7.3.1	c) 設計・開発に関する責任及び権限						
548	7.3.1	組織は、効果的なコミュニケーションと責任の明確な割当てとを確実にするために、設計・開発に関与するグループ間のインタフェースを运营管理すること。						
549	7.3.1	設計・開発の進行に応じて、策定した計画を適宜更新すること。						

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

	ISO9001		SW - CMM			CMMI		
550	7.3.1		L21	RM-ACT2	ソフトウェアエンジニアリンググループは、ソフトウェア計画、作業成果物、および活動の基盤として、割り当てられた要件を使用する。	2-1	REQM-GP2.7-DI2	「要件管理」プロセスの直接の利害関係者を計画どおりに特定し関与させる。
551	7.3.1		L22	SPP-ABL2	ソフトウェア開発計画策定の責任が割り当てられている。	2-1	REQM-SP1.4	要件とプロジェクト計画および作業成果物の双方向の追跡可能性を維持する。
552	7.3.1		L22	SPP-ACT6	7.1参照	2-2	PP-SP1.1	プロジェクトの範囲の見積りに対する最上位レベルのワークブレイクダウンストラクチャ(Work Breakdown Structure)を確立し維持する。
553	7.3.1		L22	SPP-ACT7	7.1参照	2-2	PP-SP1.2	作業成果物およびタスクの属性の見積りを確立し文書化する。
554	7.3.1		L22	SPP-ACT8	ソフトウェアプロジェクトの制御を確立し維持するために必要なソフトウェア作業成果物を特定する。	2-2	PP-SP1.3	計画策定作業の範囲を決定するプロジェクトライフサイクルフェーズを定義する。
555	7.3.1		L22	SPP-ACT9	ソフトウェア作業成果物の規模模（またはソフトウェア作業成果物（の変更規模）の見積りは、文書化された手順に従って算出する。	2-2	PP-SP1.4	見積りの論理的根拠に基づいて、作業成果物およびタスクの属性に対するプロジェクト工数および費用を見積る。
556	7.3.1		L22	SPP-ACT10	ソフトウェアプロジェクトの工数とコストの見積りは、文書化された手順に従って算出する。	2-2	PP-SP2.1	プロジェクトの予算およびスケジュールを確立し維持する。
557	7.3.1		L22	SPP-ACT11	プロジェクトの重要なコンピュータ資源の見積りは、文書化された手順に従って算出する。	2-2	PP-SP2.2	プロジェクトリスクを特定し分析する。
558	7.3.1		L22	SPP-ACT12	プロジェクトのソフトウェアスケジュールは、文書化された手順に従って策定する。	2-2	PP-SP2.3	プロジェクトデータの管理を計画する。
559	7.3.1		L22	SPP-ACT13	プロジェクトのコスト、資源、スケジュール、および技術面にかかわるソフトウェアのリスクを特定し、アセスメントし、そして文書化する。	2-2	PP-SP2.4	プロジェクトを実施するために必要な資源を計画する。
560	7.3.1		L22	SPP-ACT14	プロジェクトのソフトウェアエンジニアリング設備および支援ツールに関する計画を作成する。	2-2	PP-SP2.5	プロジェクトを実施するために必要な知識およびスキルを計画する。
561	7.3.1		L23	PTO-ACT1	ソフトウェア活動の進捗を確認し状況を伝達するために、文書化されたソフトウェア開発計画を使用する。	2-2	PP-SP2.6	特定された利害関係者の関与を計画する。
562	7.3.1		L23	PTO-ACT2	プロジェクトのソフトウェア開発計画は、文書化された手順に従って改訂する。	2-2	PP-SP2.7	全体的なプロジェクト計画の内容を確立し維持する。
563	7.3.1		L23	PTO-ACT4	承認されたコミットメントの変更がソフトウェアプロジェクトに影響をおよぼす場合、その変更をソフトウェアエンジニアリンググループおよび他のソフトウェア関連グループメンバーに伝達する。	2-2	PP-SP3.1	従属計画をレビューし、プロジェクトのコミットメントを理解する。

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

	ISO9001		S W - C M M			C M M I		
564	7.3.1		L23	PT0-ABL1	ソフトウェアプロジェクトのソフトウェア開発計画は、文書化され承認されている。	2-2	PP-SP3.2	利用可能な資源および予想された資源を反映するようにプロジェクト計画を調和させる。
565	7.3.1		L23	PT0-ABL2	プロジェクトソフトウェアマネージャは、ソフトウェア作業成果物および活動に対する責任を明示的に割り当てる。	2-2	PP-SP3.3	計画の実行を実施し支援する責任のある直接の利害関係者からコミットメントを獲得する。
566	7.3.1		L24	SSM-ACT1	7.4参照	2-2	PP-GP2.7-DI2	計画どおりに、プロジェクト計画策定プロセスの直接の利害関係者を特定し関与させる。
567	7.3.1		L24	SSM-ACT5	7.4参照	2-3	PMC-GP2.7-DI2	「プロジェクトの監視と制御」プロセスの直接の利害関係者を計画どおりに特定し関与させる。
568	7.3.1		L24	SSM-ACT7	7.3.4参照	2-4	SAM-GP2.7-DI2	「供給者合意管理」プロセスの直接の利害関係者を計画どおりに特定し関与させる。
569	7.3.1		L25	SQA-ACT6	SQAグループは、ソフトウェアエンジニアリンググループに対し、定期的にその活動結果を報告する。	2-5	MA-GP2.7-DI2	「測定と分析」プロセスの直接の利害関係者を計画どおりに特定し関与させる。
570	7.3.1		L25	SQA-ACT8	SQAグループは、顧客のSQA担当者などとともに、適宜、SQAグループの活動や所見の定期的レビューを開催する。	2-6	PPQA-GP2.7-DI2	「プロセスと成果物の品質保証」プロセスの直接の利害関係者を計画どおりに特定し関与させる。
571	7.3.1		L26	SCM-ACT4	構成管理下におくべきソフトウェア作業成果物を特定する。	2-7	CM-GP2.7-DI2	「構成管理」プロセスの直接の利害関係者を計画どおりに特定し関与させる。
572	7.3.1		L26	SCM-ABL2	プロジェクトには、SCM の調整と実装に責任を持つグループ（SCM グループ）が存在する。	3-1	RD-GP2.7-DI2	「要件開発」プロセスの直接の利害関係者を計画どおりに特定し関与させる。
573	7.3.1		L34	ISM-ACT3	7.1参照	3-2	TS-SP1.1	技術的解決策の詳細な選択肢および選択基準を作成する。
574	7.3.1		L34	ISM-ACT4	7.1参照	3-2	TS-SP1.3	確立された基準を最も満たすプロダクトコンポーネント技術的解決策を選択する。
575	7.3.1		L34	ISM-ACT5	7.1参照	3-2	TS-SP2.1	効果的な設計手法で確立し使用する。
576	7.3.1		L34	ISM-ACT6	ソフトウェア作業成果物の規模（またはソフトウェア作業成果物の変更規模）は、文書化された手順に従って管理する。	3-2	TS-SP2.4	確立された基準に基づいて、プロダクトコンポーネントの開発、購入、または再利用が必要かを評価する。
577	7.3.1		L34	ISM-ACT7	プロジェクトのソフトウェア工数とコストは、文書化された手順に従って管理する。	3-2	TS-GP2.7-DI2	「技術解」プロセスの直接の利害関係者を計画どおりに特定し関与させる。
578	7.3.1		L34	ISM-ACT8	プロジェクトの重要なコンピュータ資源は、文書化された手順に従って管理する。	3-3	PI-SP1.3	プロダクトコンポーネントの統合に必要な詳細な手順および基準を定義する。
579	7.3.1		L34	ISM-ACT9	プロジェクトのソフトウェアスケジュールの重要な依存関係とクリティカルパスは、文書化された手順に従って管理する。	3-3	PI-GP2.7-DI2	「成果物統合」プロセスの直接の利害関係者を計画どおりに特定し関与させる。
580	7.3.1		L34	ISM-ACT10	プロジェクトのソフトウェアリスクは、文書化された手順に従って特定し、アセスメントし、文書化し、そして管理する。	3-4	VER-SP1.3	選択された作業成果物に関する詳細な検証計画を確立し維持する。
581	7.3.1		L35	SPE-ACT1	7.1参照	3-4	VER-GP2.7-DI2	「検証」プロセスの直接の利害関係者を計画どおりに特定し関与させる。

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

	ISO9001		SW - CMM			CMMI		
582	7.3.1		L35	SPE-ACT6	7.3.5参照	3-5	VAL-SP1.3	妥当性確認に必要な詳細な手順および基準を定義する。
583	7.3.1		L35	SPE-ACT7	7.3.6参照	3-5	VAL-GP2.7-DI2	「妥当性確認」プロセスの直接の利害関係者を計画どおりに特定し関与させる。
584	7.3.1		L36	IC-ACT2	プロジェクトのソフトウェアエンジニアリンググループの代表者は、他のエンジニアリンググループの代表者とともに、技術活動をモニターしかつ調整し、そして技術的な課題を解決する。	3-6	OPF-GP2.7-DI2	「組織プロセス重視」プロセスの直接の利害関係者を計画どおりに特定し関与させる。
585	7.3.1		L36	IC-ACT3	7.1参照	3-7	OPD-GP2.7-DI2	「組織プロセス定義」プロセスの直接の利害関係者を計画どおりに特定し関与させる。
586	7.3.1		L36	IC-ACT4	エンジニアリンググループ間の重要な依存関係は、文書化された手順に従って特定し、協議し、そして進捗を確認する。	3-8	OT-GP2.7-DI2	「組織トレーニング」プロセスの直接の利害関係者を計画どおりに特定し関与させる。
587	7.3.1		L36	IC-ACT6	個々のプロジェクトエンジニアリンググループの代表者で解決できないグループ間の課題は、文書化された手順に従って取り扱う。	3-9	IPM-GP2.7-DI2	「統合プロジェクト管理」プロセスの直接の利害関係者を計画どおりに特定し関与させる。
588	7.3.1		L36	IC-ACT7	プロジェクトのエンジニアリンググループの代表者は、定期的に技術レビューと意見交換会を開催する。	3-10	RSKM-GP2.7-DI2	「リスク管理」プロセスの直接の利害関係者を計画どおりに特定し関与させる。
589	7.3.1		L37	PR-ACT1	ピアレビューを計画し、計画を文書化する。	3-11	IT-GP2.7-DI2	「統合チーム編成」プロセスの直接の利害関係者を計画どおりに特定し関与させる。
590	7.3.1					3-12	DAR-GP2.7-DI2	「決定分析と解決」プロセスの直接の利害関係者を計画どおりに特定し関与させる。
591	7.3.1					3-13	OE-GP2.7-DI2	「統合のための組織環境」プロセスの直接の利害関係者を計画どおりに特定し関与させる。
592	7.3.2	7.3.2 設計・開発へのインプット						
593	7.3.2	製品要求事項に関連するインプットを明確にし、記録を維持すること(4.2.4参照)。インプットには次の事項を含めること。						
594	7.3.2	a) 機能及び性能に関する要求事項						
595	7.3.2	b) 適用される法令・規制要求事項						
596	7.3.2	c) 適用可能な場合は、以前の類似した設計から得られた情報						
597	7.3.2	d) 設計・開発に不可欠なその他の要求事項						
598	7.3.2	これらのインプットについては、その適切性をレビューすること。要求事項は、漏れがなく、あいまい(曖昧)ではなく、かつ、相反することがないこと。						

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMM I		
599	7.3.2		L21	RM-ACT2	ソフトウェアエンジニアリンググループは、ソフトウェア計画、作業成果物、および活動の基盤として、割り当てられた要件を使用する。	3-1	RD-SP2.1	顧客要件を基にして、プロダクトおよびプロダクトコンポーネントの有効性と入手可能性にとって本質的なプロダクトおよびプロダクトコンポーネントの要件を確立し維持する。
600	7.3.2		L36	IC-ACT5	他のエンジニアリンググループへのインプットとなる作業成果物はその作業成果物が受け入れ側のエンジニアリンググループのニーズを満足することを確実なものにするため、受け入れ側グループの代表者がレビューする。	3-1	RD-SP2.2	各プロダクトコンポーネントの要件を割り当てる。
601	7.3.2					3-1	RD-SP2.3	インタフェース要件を特定する。
602	7.3.2					3-1	RD-SP3.2	必要な機能性の定義を確立し維持する。
603	7.3.2					3-1	RD-SP3.3	導き出された要件を分析し、要件が必要かつ十分であることを確実にする。
604	7.3.2					3-1	RD-SP3.4	プロダクト開発のライフサイクル費用、スケジュール、およびリスクの低減を目標として、要件を分析する。
605	7.3.2					3-2	TS-SP2.2	完全な技術データパッケージを確立し維持する。
606	7.3.2					3-2	TS-SP2.3	確立され維持される基準に基づいて、プロダクトコンポーネントインタフェースを設計する。
607	7.3.2					3-2	TS-SP2.4	確立された基準に基づいて、プロダクトコンポーネントの開発、購入、または再利用が必要かを評価する。
608	7.3.3	7.3.3 設計・開発からのアウトプット						
609	7.3.3	設計・開発からのアウトプットは、設計・開発へのインプットと対比した検証ができるような様式で提示されること。また、次の段階に進める前に、承認を受けること。						
610	7.3.3	設計・開発からのアウトプットは次の状態であること。						
611	7.3.3	a) 設計・開発へのインプットで与えられた要求事項を満たす。						
612	7.3.3	b) 購買、製造及びサービス提供に対して適切な情報を提供する。						
613	7.3.3	c) 製品の合否判定基準を含むか又はそれを参照している。						
614	7.3.3	d) 安全な使用及び適正な使用に不可欠な製品の特性を明確にする。						

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMM I		
615	7.3.3		L35	SPE-ACT10	ソフトウェア作業成果物をとおりて首尾一貫性を保つ。ソフトウェア作業成果物には、ソフトウェア計画、プロセス設計、プロセス記述、割り当てられた要件、ソフトウェア要件、ソフトウェア設計、コード、テスト計画、およびテスト手順が含まれる。	2-1	REQM-SP1.5	プロジェクト計画および作業成果物と要件の間の不整合を特定する。
616	7.3.3					3-2	TS-SP2.2	完全な技術データパッケージを確立し維持する。
617	7.3.3					3-2	TS-SP2.3	確立され維持される基準に基づいて、プロダクトコンポーネントインタフェースを設計する。
618	7.3.3					3-2	TS-SP3.1	プロダクトコンポーネントの設計を実装する。
619	7.3.3					3-2	TS-SP3.2	エンドユーザ用文書を確立し維持する。
620	7.3.3					3-3	PI-SP3.2	プロダクト統合戦略に従って、プロダクトコンポーネントを組み立てる。
621	7.3.4	7.3.4 設計・開発のレビュー						
622	7.3.4	設計・開発の適切な段階において、次の事項を目的として、計画されたとおりに(7.3.1参照)体系的なレビューを行うこと。						
623	7.3.4	a) 設計・開発の結果が要求事項を満たせるかどうかを評価する。						
624	7.3.4	b) 問題を明確にし、必要な処置を提案する。						
625	7.3.4	レビューへの参加者として、レビューの対象となっている設計・開発段階に関連する部門の代表が含まれていること。このレビューの結果の記録及び必要な処置があればその記録を維持すること(4.2.4参照)。						
626	7.3.4		L24	SSM-ACT7	発注元の管理層は、外注先の管理層とともに定期的な状況/調整レビューを開催する。	2-1	REQM-SP1.5	プロジェクト計画および作業成果物と要件の間の不整合を特定する。
627	7.3.4		L24	SSM-ACT9	7.4参照	3-3	PI-SP2.1	インタフェース記述の網羅性および完全性をレビューする。
628	7.3.4		L36	IC-ACT7	プロジェクトのエンジニアリンググループの代表者は、定期的に技術レビューと意見交換会を開催する。	3-3	PI-SP3.1	組み立ての前に、プロダクトの組み立てに必要な各プロダクトコンポーネントが適切に識別され、記述に従って機能するか確認する。そして、プロダクトコンポーネントインタフェースがインタフェース記述に適合するかも確認する。

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

	ISO9001		SW - CMM			CMMI		
629	7.3.4		L37	PR-ACT2	7.3.5参照	3-4	VER-SP2.1	選択された作業成果物のピアレビューを準備する。
630	7.3.4		L37	PR-ACT3	7.3.5参照	3-4	VER-SP2.2	選択された作業成果物にいてピアレビューを実施し、ピアレビューから生じる課題を特定する。
631	7.3.4					3-4	VER-SP2.3	ピアレビューの準備、実施、および結果に関するデータを分析する。
632	7.3.5	7.3.5 設計・開発の検証						
633	7.3.5	設計・開発からのアウトプットが、設計・開発へのインプットで与えられている要求事項を満たしていることを確実にするために、計画されたとおりに(7.3.1参照)検証を実施すること。この検証の結果の記録及び必要な処置があればその記録を維持すること(4.2.4参照)。						
634	7.3.5		L35	SPE-ACT5	「プロジェクトの定義されたソフトウェアプロセス」に従って、ソフトウェアテストを実施する。	2-1	REQM-SP1.5	プロジェクト計画および作業成果物と要件の間の不整合を特定する。
635	7.3.5		L35	SPE-ACT6	「プロジェクトの定義されたソフトウェアプロセス」に従って、ソフトウェアの統合テストを計画し実施する。	3-3	PI-SP3.1	組み立ての前に、プロダクトの組み立てに必要な各プロダクトコンポーネントが適切に識別され、記述に従って機能するか確認する。そして、プロダクトコンポーネントインタフェースがインタフェース記述に適合するかも確認する。
636	7.3.5		L37	PR-ACT2	文書化された手順に従って、ピアレビューを実施する。	3-4	VER-SP2.1	選択された作業成果物のピアレビューを準備する。
637	7.3.5		L37	PR-ACT3	ピアレビューの開催と結果に関するデータを記録する。	3-4	VER-SP2.2	選択された作業成果物にいてピアレビューを実施し、ピアレビューから生じる課題を特定する。
638	7.3.5					3-4	VER-SP2.3	ピアレビューの準備、実施、および結果に関するデータを分析する。
639	7.3.5					3-4	VER-SP3.1	検証戦略に従って、検証を実施する。
640	7.3.5					3-4	VER-SP3.2	すべての検証活動の結果を分析し、是正処置を特定する。
641	7.3.6	7.3.6 設計・開発の妥当性確認						

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMM I		
642	7.3.6	結果として得られる製品が、指定された用途又は意図された用途に応じた要求事項を満たし得ることを確実にするために、計画した方法(7.3.1参照)に従って、設計・開発の妥当性確認を実施すること。実行可能な場合にはいつでも、製品の引渡し又は提供の前に、妥当性確認を完了すること。妥当性確認の結果の記録及び必要な処置があればその記録を維持すること(4.2.4参照)。						
643	7.3.6		L35	SPE-ACT6	「プロジェクトの定義されたソフトウェアプロセス」に従って、ソフトウェアの統合テストを計画し実施する。	2-1	REQM-SP1.5	プロジェクト計画および作業成果物と要件の間の不整合を特定する。
644	7.3.6		L35	SPE-ACT7	ソフトウェアのシステムテストと検収テストを計画し実施して、ソフトウェアが要件を満足していることを実証する。	3-1	RD-SP3.5	複数の技法を適宜使用して、要件の妥当性を確認し、結果としてプロダクトがユーザ環境で意図されたとおりに動作することを確実にする。
645	7.3.6					3-3	PI-SP3.1	組み立ての前に、プロダクトの組み立てに必要な各プロダクトコンポーネントが適切に識別され、記述に従って機能するか確認する。そして、プロダクトコンポーネントインタフェースがインタフェース記述に適合するかも確認する。
646	7.3.6					3-5	VAL-SP2.1	妥当性確認戦略に従って、妥当性確認を実施する。
647	7.3.6					3-5	VAL-SP2.2	妥当性確認活動の結果を記述し、分析し、そして課題を特定する。
648	7.3.7	7.3.7 設計・開発の変更管理						
649	7.3.7	設計・開発の変更を明確にし、記録を維持すること。変更に対して、レビュー、検証及び妥当性確認を適宜行い、その変更を実施する前に承認すること。設計・開発の変更のレビューには、その変更が、製品を構成する要素及び既に引き渡されている製品に及ぼす影響の評価を含めること。						
650	7.3.7	変更のレビューの結果の記録及び必要な処置があればその記録を維持すること(4.2.4参照)。						

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMM I		
651	7.3.7	参考 “変更のレビュー”とは、変更に対して適宜行われたレビュー、検証及び妥当性確認のことである。						
652	7.3.7		L21	RM-ACT3	割り当てられた要件への変更をレビューし、ソフトウェアプロジェクトに組み込む。	2-1	REQM-SP1.3	プロジェクト存続中の要件の進化に伴う要件の変更を管理する。
653	7.3.7		L23	PTO-ACT2	プロジェクトのソフトウェア開発計画は、文書化された手順に従って改訂する。	2-7	CM-SP1.1	構成管理下に置かれる構成項目、コンポーネント、および関連作業成果物を特定する。
654	7.3.7		L26	SCM-ACT5	7.5.3 参照	2-7	CM-SP1.2	作業成果物を制御するため、構成管理および変更管理のシステムを確立し維持する。
655	7.3.7		L37	PR-ACT2	文書化された手順に従って、ピアレビューを実施する。	2-7	CM-SP1.3	内部使用および顧客への納入のために、ベースラインを作成またはリリースする。
656	7.3.7		L37	PR-ACT3	ピアレビューの開催と結果に関するデータを記録する。	2-7	CM-SP2.1	構成項目の変更要求を追跡する。
657	7.3.7		L35	SPE-ACT10	ソフトウェア作業成果物をととして首尾一貫性を保つ。ソフトウェア作業成果物には、ソフトウェア計画、プロセス記述、割り当てられた要件、ソフトウェア要件、ソフトウェア設計、コード、テスト計画、およびテスト手順が含まれる。	2-7	CM-SP2.2	構成項目の内容に対する変更を制御する。
658	7.3.7					3-3	PI-SP2.2	プロダクトおよびプロダクトコンポーネントの内部および外部インタフェースの定義、設計、および変更を管理する。
659	7.4	7.4 購買						
660	7.4		L24	SSM-ACT1	外注する作業は、文書化された手順に従って定義し計画する。			
661	7.4		L24	SSM-ACT3	発注元とソフトウェア外注先との間の契約合意を、外注管理の基盤とする。	2-4	SAM-SP2.2	供給者合意の定義どおり、供給者とともに活動を実施する。
662	7.4		L24	SSM-ACT4	文書化された外注先のソフトウェア開発計画について、発注元がレビューし承認する。			
663	7.4		L24	SSM-ACT5	文書化され承認された外注先のソフトウェア開発計画を用いて、ソフトウェア活動の進捗を確認し、状況を伝達する。			
664	7.4		L24	SSM-ACT6	ソフトウェア外注先の作業内容記述書、外注契約条項、およびその他のコミットメントに関する変更は、文書化された手順に従って解決する。			
665	7.4		L24	SSM-ACT7	7.3.4参照			
666	7.4		L24	SSM-ACT8	ソフトウェア外注先とともに、定期的に技術レビューと情報交換を行う。			

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMMI		
667	7.4		L24	SSM-ACT9	外注先のソフトウェアエンジニアリングの成果と結果を取り上げるための正式レビューは、選択されたマイルストーンで、文書化された手順に従って開催する。			
668	7.4		L24	SSM-ACT10	発注元のソフトウェア品質保証グループは、文書化された手順に従って外注先のソフトウェア品質保証の活動をモニターする。			
669	7.4		L24	SSM-	7.5.3参照			
670	7.4		L24	SSM-ACT12	発注元は、外注先のソフトウェア成果物納入の一環として、文書化された手順に従って検収テストを実施する。			
671	7.4		L24	SSM-ACT13	ソフトウェア外注先の実績を定期的に評価し、評価結果は外注先とともにレビューする。			
672	7.4		L42	SQM-ACT5	成果物に対するソフトウェアプロジェクトの定量的品質目標は、そのプロジェクトにソフトウェア成果物を納入する外注先に適切に割り当てる。			
673	7.4.1	7.4.1 購買プロセス						
674	7.4.1	組織は、規定された購買要求事項に、購買製品が適合することを確実にすること。供給者及び購買した製品に対する管理の方式と程度は、購買製品が、その後の製品実現のプロセス又は最終製品に及ぼす影響に応じて定めること。						
675	7.4.1	組織は、供給者が組織の要求事項に従って製品を供給する能力を判断の根拠として、供給者を評価し、選定すること。選定、評価及び再評価の基準を定めること。評価の結果の記録及び評価によって必要とされた処置があればその記録を維持すること(4.2.4参照)。						
676	7.4.1		L24	SSM-ACT2	ソフトウェア外注先は、外注契約入札者の作業実施能力に関する評価を基盤とし、文書化された手順に従って選定する。	2-4	SAM-SP1.2	明確化された要件および確立された基準を満たすための能力の評価に基づいて、供給者を選択する。
677	7.4.1					2-4	SAM-SP1.3	供給者との公式の合意を確立し維持する
678	7.4.2	7.4.2 購買情報						

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMM I		
679	7.4.2	購買情報では購買製品に関する情報を明確にし、必要な場合には、次の事項のうち該当する事項を含めること。						
680	7.4.2	a) 製品、手順、プロセス及び設備の承認に関する要求事項						
681	7.4.2	b) 要員の適格性確認に関する要求事項						
682	7.4.2	c) 品質マネジメントシステムに関する要求事項						
683	7.4.2	組織は、供給者に伝達する前に、規定した購買要求事項が妥当であることを確実にすること。						
684	7.4.2					2-4	SAM-SP1.1	プロジェクト外の源によって充足されるプロジェクトのニーズおよび要件を分析し、ニーズおよび要件がどのように満たされるかを判断する。
685	7.4.2					2-4	SAM-SP2.1	供給者の合意で扱われる定義された要件を満たすために、商用市販プロダクトを調達する。
686	7.4.2					2-4	SAM-SP2.2	供給者合意の定義どおり、供給者とともに活動を実施する。
687	7.4.3	7.4.3 購買製品の検証						
688	7.4.3	組織は、購買製品が、規定した購買要求事項を満たしていることを確実にするために、必要な検査又はその他の活動を定めて、実施すること。						
689	7.4.3	組織又はその顧客が、供給者先で検証を実施することにした場合には、組織は、その検証の要領及び購買製品のリリース(出荷許可)の方法を購買情報の中に明確にすること。						
690	7.4.3					2-4	SAM-SP2.3	供給者合意が確実に満たされてから、調達したプロダクトを検収する。
691	7.4.3					2-4	SAM-SP2.4	供給者から調達したプロダクトをプロジェクトに移行する。
692	7.5	7.5 製造及びサービス提供						
693	7.5.1	7.5.1 製造及びサービス提供の管理						
694	7.5.1	組織は、製造及びサービス提供を計画し、管理された状態で実行すること。管理された状態には、該当する次の状態を含むこと。						
695	7.5.1	a) 製品の特性を述べた情報が利用できる。						

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMM I		
696	7.5.1	b) 必要に応じて、作業手順が利用できる。						
697	7.5.1	c) 適切な設備を使用している。						
698	7.5.1	d) 監視機器及び測定機器が利用でき、使用している。						
699	7.5.1	e) 規定された監視及び測定が実施されている。						
700	7.5.1	f) リリース(次工程への引渡し)、顧客への引渡し及び引渡し後の活動が規定されたとおりに実施されている。						
701	7.5.1		L35	SPE-ACT7	ソフトウェアのシステムテストと検収テストを計画し実施して、ソフトウェアが要件を満足していることを実証する。	3-2	TS-SP1.2	各プロダクトコンポーネントに特有の条件、運用モード、および運用状態を記述するため、運用の考え方、シナリオ、および環境を進化させる。
702	7.5.1		L35	SPE-ACT8	「プロジェクトの定義されたソフトウェアプロセス」に従って、ソフトウェアの運用と保守に使用する文書を作成し、保守する。	3-2	TS-SP3.2	エンドユーザ用文書確立し維持する。
703	7.5.2	7.5.2 製造及びサービス提供に関する						
704	7.5.2	製造及びサービス提供の過程で結果として生じるアウトプットが、それ以降の監視又は測定で検証することが不可能な場合には、組織は、その製造及びサービス提供の該当するプロセスの妥当性確認を行うこと。これらのプロセスには、製品が使用され、又はサービスが提供されてからでしか不具合が顕在化しないようなプロセスが含まれる。						
705	7.5.2	妥当性確認によって、これらのプロセスが計画どおりの結果を出せることを実証すること。						
706	7.5.2	組織は、これらのプロセスについて、次の事項のうち適用できるものを含んだ手続きを確立すること。						
707	7.5.2	a) プロセスのレビュー及び承認のための明確な基準						
708	7.5.2	b) 設備の承認及び要員の適格性確認						
709	7.5.2	c) 所定の方法及び手順の適用						
710	7.5.2	d) 記録に関する要求事項(4.2.4参						
711	7.5.2	e) 妥当性の再確認						
712	7.5.2							

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMM I		
713	7.5.3	7.5.3 識別及びトレーサビリティ						
714	7.5.3	必要な場合には、組織は、製品実現の全過程において適切な手段で製品を識別すること。						
715	7.5.3	組織は、監視及び測定 of 要求事項に関連して、製品の状態を識別すること。						
716	7.5.3	トレーサビリティが要求事項となっている場合には、組織は、製品について固有の識別を管理し、記録すること(4.2.4参照)。						
717	7.5.3	参考 ある産業分野では、構成管理が識別及びトレーサビリティを維持する手段である。						
718	7.5.3		L24	SSM-ACT11	発注元のソフトウェア構成管理グループは、文書化された手順に従って外注先のソフトウェア構成管理活動をモニターする。	2-1	REQM-SP1.4	要件とプロジェクト計画および作業成果物の双方向の追跡可能性を維持する。
719	7.5.3		L26	SCM-ACT5	すべての構成アイテム/ユニットの変更要求や問題報告は、文書化された手順に従って発行し、記録し、レビューし、承認し、そして進捗を確認する。	2-1	REQM-GP2.6-DI1	「要件管理」プロセスの指定された作業成果物を適切なレベルの構成管理下に置く。
720	7.5.3		L26	SCM-ACT6	ベースラインの変更は、文書化された手順に従って制御する。	2-2	PP-GP2.6-DI1	プロジェクト計画策定プロセスの指定された作業成果物を適切なレベルの構成管理下に置く。
721	7.5.3		L26	SCM-ACT7	文書化された手順に従って、ソフトウェアベースラインライブラリから成果物を生成し、それらのリリースを制御する。	2-3	PMC-GP2.6-DI1	「プロジェクトの監視と制御」プロセスの指定された作業成果物を適切なレベルの構成管理下に置く。
722	7.5.3		L26	SCM-ACT8	構成アイテム/ユニットの状況は、文書化された手順に従って記録する。	2-4	SAM-SP2.4	供給者から調達したプロダクトをプロジェクトに移行する。
723	7.5.3		L26	SCM-ACT9	SCM 活動およびソフトウェアベースラインの内容に関する標準報告書を作成し、影響を受けるグループと個人に利用可能とする。	2-4	SAM-GP2.6-DI1	「供給者合意管理」プロセスの指定された作業成果物を適切なレベルの構成管理下に置く。
724	7.5.3		L26	SCM-ACT10	ソフトウェアベースライン監査は、文書化された手順に従って実施する。	2-5	MA-GP2.6-DI1	「測定と分析」プロセスの指定された作業成果物を適切なレベルの構成管理下に置く。
725	7.5.3		L26	SCM-VER3	SCM グループは、定期的にソフトウェアベースラインを監査し、ソフトウェアベースラインを定義した文書との準拠性を検証する。	2-6	PPQA-GP2.6-DI1	「プロセスと成果物の品質保証」プロセスの指定された作業成果物を適切なレベルの構成管理下に置く。

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMMI		
726	7.5.3		L35	SPE- ACT10	ソフトウェア作業成果物をととして首尾一貫性を保つ。ソフトウェア作業成果物には、ソフトウェア計画、プロセス設計、プロセス記述、割り当てられた要件、ソフトウェア要件、ソフトウェア設計、コード、テスト計画、およびテスト手順が含まれる。	2-7	CM-SP1.1	構成管理下に置かれる構成項目、コンポーネント、および関連作業成果物を特定する。
727	7.5.3					2-7	CM-SP1.2	作業成果物を制御するため、構成管理および変更管理のシステムを確立し維持する。
728	7.5.3					2-7	CM-SP1.3	内部使用および顧客への納入のために、ベースラインを作成またはリリースする。
729	7.5.3					2-7	CM-SP3.1	構成項目を記述する記録を確立し維持する。
730	7.5.3					2-7	CM-SP3.2	構成監査を実施し、構成ベースラインの一貫性を維持する。
731	7.5.3					2-7	CM-GP2.6-DI1	「構成管理」プロセスの指定された作業成果物を適切なレベルの構成管理下に置く。
732	7.5.3					3-1	RD-GP2.6-DI1	「要件開発」プロセスの指定された作業成果物を適切なレベルの構成管理下に置く。
733	7.5.3					3-2	TS-GP2.6-DI1	「技術解」プロセスの指定された作業成果物を適切なレベルの構成管理下に置く。
734	7.5.3					3-3	PI-SP3.1	組み立ての前に、プロダクトの組み立てに必要な各プロダクトコンポーネントが適切に識別され、記述に従って機能するか確認する。そして、プロダクトコンポーネントインタフェースがインタフェース記述に適合するかも確認する。
735	7.5.3					3-3	PI-GP2.6-DI1	「成果物統合」プロセスの指定された作業成果物を適切なレベルの構成管理下に置く。
736	7.5.3					3-4	VER-GP2.6-DI1	「検証」プロセスの指定された作業成果物を適切なレベルの構成管理下に置く。
737	7.5.3					3-5	VAL-GP2.6-DI1	「妥当性確認」プロセスの指定された作業成果物を適切なレベルの構成管理下に置く。
738	7.5.3					3-6	OPF-GP2.6-DI1	「組織プロセス重視」プロセスの指定された作業成果物を適切なレベルの構成管理下に置く。
739	7.5.3					3-7	OPD-GP2.6-DI1	「組織プロセス定義」プロセスの指定された作業成果物を適切なレベルの構成管理下に置く。
740	7.5.3					3-8	OT-GP2.6-DI1	「組織トレーニング」プロセスの指定された作業成果物を適切なレベルの構成管理下に置く。

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMMI		
741	7.5.3					3-9	IPM-GP2.6-DI1	「統合プロジェクト管理」プロセスの指定された作業成果物を適切なレベルの構成管理下に置く。
742	7.5.3					3-10	RSKM-GP2.6-DI1	「リスク管理」プロセスの指定された作業成果物を適切なレベルの構成管理下に置く。
743	7.5.3					3-11	IT-GP2.6-DI1	「統合チーム編成」プロセスの指定された作業成果物を適切なレベルの構成管理下に置く。
744	7.5.3					3-12	DAR-GP2.6-DI1	「決定分析と解決」プロセスの指定された作業成果物を適切なレベルの構成管理下に置く。
745	7.5.3					3-13	OE-GP2.6-DI1	「統合のための組織環境」プロセスの指定された作業成果物を適切なレベルの構成管理下に置く。
746	7.5.3					4-1	OPP-GP2.6-DI1	組織プロセス実績プロセスの指定された作業成果物を適切なレベルの構成管理下に置く。
747	7.5.3					4-2	QPM-GP2.6-DI1	定量的プロジェクト管理プロセスの指定された作業成果物を適切なレベルの構成管理下に置く。
748	7.5.3					5-1	OID-GP2.6-DI1	組織改革と展開プロセスの指定された作業成果物を適切なレベルの構成管理下に置く。
749	7.5.3					5-2	CAR-GP2.6-DI1	原因分析と解決プロセスの指定された作業成果物を適切なレベルの構成管理下に置く。
750	7.5.4	7.5.4 顧客の所有物						
751	7.5.4	組織は、顧客の所有物について、それが組織の管理下にある間、又は組織がそれを使用している間は、注意を払うこと。組織は、使用するため又は製品に組み込むために提供された顧客の所有物の識別、検証及び保護・防護を実施すること。顧客の所有物を紛失、損傷した場合又は使用には適さないとわかった場合には、顧客に報告し、記録を維持すること(4.2.4参照)。						
752	7.5.4	参考 顧客の所有物には知的所有権も含まれる。						
753	7.5.5	7.5.5 製品の保存						

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMM I		
754	7.5.5	組織は、内部処理から指定納入先への引渡しまでの間、製品を適合した状態のまま保存すること。この保存には、識別、取扱い、包装、保管及び保護を含めること。保存は、製品を構成する要素にも適用すること。						
755	7.5.5	参考 内部処理とは、組織が運営管理している製品実現のプロセスにおける活動をいう。						
756	7.5.5					3-3	PI-SP3.4	組み立てられたプロダクトまたはプロダクトコンポーネントを梱包し、適切な顧客に納入する。
757	7.6	7.6 監視機器及び測定機器の管理						
758	7.6	定められた要求事項に対する製品の適合性を実証するために、組織は、実施すべき監視及び測定を明確にすること。また、そのために必要な監視機器及び測定機器を明確にすること(7.2.1参照)。						
759	7.6	組織は、監視及び測定の要求事項との整合性を確保できる方法で監視及び測定が実施できることを確実にするプロセスを確立すること。						
760	7.6	測定値の正当性が保証されなければならない場合には、測定機器に関し、次の事項を満たすこと。						
761	7.6	a) 定められた間隔又は使用前に、国際又は国家計量標準にトレース可能な計量標準に照らして校正又は検証する。そのような標準が存在しない場合には、校正又は検証に用いた基準を記録する。						
762	7.6	b) 機器の調整をする、又は必要に応じて再調整する。						
763	7.6	c) 校正の状態が明確にできる識別をする。						
764	7.6	d) 測定した結果が無効になるような操作ができないようにする。						
765	7.6	e) 取扱い、保守、保管において、損傷及び劣化しないように保護する。						

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMM I		
766	7.6	さらに、測定機器が要求事項に適合していないことが判明した場合には、組織は、その測定機器でそれまでに測定した結果の妥当性を評価し、記録すること。組織は、その機器及び影響を受けた製品に対して、適切な処置をとること。校正及び検証の結果の記録を維持すること(4.2.4参照)。						
767	7.6	さらに、測定機器が要求事項に適合していないことが判明した場合には、組織は、その測定機器でそれまでに測定した結果の妥当性を評価し、記録すること。組織は、その機器及び影響を受けた製品に対して、適切な処置をとること。校正及び検証の結果の記録を維持すること(4.2.4参照)。						
768	7.6	規定要求事項にかかわる監視及び測定にコンピュータソフトウェアを使う場合には、そのコンピュータソフトウェアによって意図した監視及び測定ができることを確認すること。この確認は、最初に使用するのに先立って実施すること。また、必要に応じて再確認すること。						
769	7.6	参考 ISO 10012-1(Quality assurance requirements for measuring equipment-Part 1: Metrological confirmation system for measuring equipment)及びISO 10012-2(Quality assurance for measuring equipment-Part 2: Guidelines for control of measurement processes)を参照。						
770	7.6		L22	SPP-	7.3.1参照			
771	8.	8. 測定、分析及び改善						
772	8.	8. 測定、分析及び改善						
773	8.1	8.1 一般						

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMMI		
774	8.1	組織は、次の事項のために必要となる監視、測定、分析及び改善のプロセスを計画し、実施すること。						
775	8.1	a) 製品の適合性を実証する。						
776	8.1	b) 品質マネジメントシステムの適合性を確実にする。						
777	8.1	c) 品質マネジメントシステムの有効性を継続的に改善する。						
778	8.1	これには、統計的手法を含め、適用可能な方法、及びその使用の程度を決定することを含めること。						
779	8.1		L31	OPF-ACT1	ソフトウェアプロセスを定期的にアセスメントし、アセスメントの所見を取り上げるために処置計画を策定する。			
780	8.1		L41	QPM-ACT2	ソフトウェアプロジェクトの定量的プロセス管理活動は、プロジェクトの定量的プロセス管理計画に従って実施する。	2-5	MA-SP1.1	特定された情報ニーズおよび目標から導き出された測定目標を確立し維持する。
781	8.1		L41	QPM-ACT3	実施するデータ収集と定量的分析の戦略は、「プロジェクトの定義されたソフトウェアプロセス」に基づいて決定する。	2-5	MA-SP1.2	測定目標に対応する尺度を明確化する。
782	8.1		L41	QPM-ACT7	「組織の標準ソフトウェアプロセス」に対するプロセス能力ベースラインは、文書化された手順に従って確立され維持される。	2-5	MA-SP1.3	測定データが獲得され格納される方法を明確化する。
783	8.1		L42	SQM-ACT3	ソフトウェアライフサイクルを通じて、ソフトウェア成果物に対するプロジェクトの定量的品質目標を、定義し、モニターし、そして改訂する。	2-5	MA-SP1.4	測定データが分析され報告される方法を明確化する。
784	8.1		L51	DP-ACT8	ソフトウェアエンジニアリンググループとソフトウェアに関連したグループのメンバは、組織とプロジェクトの欠陥予防活動の状況と結果について、フィードバックを定期的に受ける。	3-1	RD-GP3.2-DI4	組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な利用および改善を支援するために、「要件開発」プロセスの計画策定および実施から導出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報を集め
785	8.1		L52	TCM-ACT1	組織は、技術変更管理計画を策定し保守する。	3-2	TS-GP3.2-DI4	組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な利用および改善を支援するために、「技術解」プロセスの計画策定および実施から導出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報を集め
786	8.1		L53	PCM-ACT2	組織のソフトウェアプロセス活動に関して責任のあるグループ（例えば、ソフトウェアエンジニアリングプロセスグループ）は、ソフトウェアプロセス改善活動を調整する。	3-3	PI-GP3.2-DI4	組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な使用および改善を支援するために、プロダクト統合プロセスの計画策定および実施から導き出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報を集め

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMMI		
787	8.1		L53	PCM-ACT3	組織は、文書化された手順に従って、ソフトウェアプロセス改善の計画を策定し保守する。	3-4	VER-GP3.2-DI4	組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な利用および改善を支援するために、「検証」プロセスの計画策定および実施から導出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報を集める。
788	8.1		L53	PCM-ACT4	ソフトウェアプロセス改善活動は、ソフトウェアプロセス改善計画に従って実施する。	3-5	VAL-GP3.2-DI4	組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な利用および改善を支援するために、「妥当性確認」プロセスの計画策定および実施から導出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報を集める。
789	8.1					3-6	OPF-GP3.2-DI4	組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な利用および改善を支援するために、「組織プロセス重視」プロセスの計画策定および実施から導出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報を集める。
790	8.1					3-7	OPD-GP3.2-DI4	組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な利用および改善を支援するために、「組織プロセス定義」プロセスの計画策定および実施から導出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報を集める。
791	8.1					3-8	OT-GP3.2-DI4	組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な利用および改善を支援するために、「組織トレーニング」プロセスの計画策定および実施から導出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報を集める。
792	8.1					3-9	IPM-GP3.2-DI4	組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な利用および改善を支援するために、「統合プロジェクト管理」プロセスの計画策定および実施から導出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報を集める。
793	8.1					3-10	RSKM-GP3.2-DI4	組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な利用および改善を支援するために、「リスク管理」プロセスの計画策定および実施から導出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報を集める。
794	8.1					3-11	IT-GP3.2-DI4	組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な利用および改善を支援するために、「統合チーム編成」プロセスの計画策定および実施から導出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報を集める。
795	8.1					3-12	DAR-GP3.2-DI4	組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な利用および改善を支援するために、「決定分析と解決」プロセスの計画策定および実施から導出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報を集める。

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

	ISO9001		SW - CMM			CMMI	
796	8.1					3-13	OE-GP3.2-DI4 組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な利用および改善を支援するために、「統合のための組織環境」プロセスの計画策定および実施から導出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報を集める。
797	8.1					4-1	OPP-SP1.1 組織のプロセス実績分析に含まれるべき一連の組織標準プロセスから、プロセスまたはプロセス要素を選択する。
798	8.1					4-1	OPP-SP1.2 組織のプロセス実績分析に含まれるべき尺度の定義を確立し維持する。
799	8.1					4-1	OPP-SP1.3 組織の品質およびプロセス実績の定量的目標を確立し維持する。
800	8.1					4-1	OPP-SP1.4 組織のプロセス実績ベースラインを確立し維持する。
801	8.1					4-1	OPP-SP1.5 一連の組織標準プロセスのためのプロセス実績モデルを確立し維持する。
802	8.1					4-1	OPP-GP2.2-AB1 要件および目標を確立し、維持し、そして組織プロセス実績プロセスの実施を計画する。
803	8.1					4-1	OPP-GP3.2-DI4 組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な使用および改善を支援するために、組織プロセス実績プロセスの計画策定および実施から導き出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報を
804	8.1					4-2	QPM-SP2.1 選択されたサブプロセスの統計的管理に使用される尺度および分析的技法を選択する。
805	8.1					4-2	QPM-SP2.2 選択された尺度および分析的技法を使用して、選択されたサブプロセスの差異の理解を確立し維持する。
806	8.1					4-2	QPM-GP2.2-AB1 要件および目標を確立し、維持し、そして定量的プロジェクト管理プロセスの実施を計画する。
807	8.1					4-2	QPM-GP3.2-DI4 組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な使用および改善を支援するために、定量的プロジェクト管理プロセスの計画策定および実施から導き出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報を収集する。
808	8.1					5-1	OID-GP2.2-AB1 要件および目標を確立し、維持し、そして組織改革と展開プロセスの実施を計画する。

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMMI		
809	8.1					5-1	OID-GP3.2-DI4	組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な使用および改善を支援するために、組織改革と展開プロセスの計画策定および実施から導き出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報を
810	8.1					5-2	CAR-GP2.2-AB1	要件および目標を確立し、維持し、そして原因分析と解決プロセスの実施を計画する。
811	8.1					5-2	CAR-GP3.2-DI4	組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な使用および改善を支援するために、原因分析と解決プロセスの計画策定および実施から導き出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報を
812	8.2	8.2 監視及び測定						
813	8.2.1	8.2.1 顧客満足						
814	8.2.1	組織は、品質マネジメントシステムの成果を含む実施状況の測定の一つとして、顧客要求事項を満足しているかどうかに関して顧客がどのように受けとめているかについての情報を監視すること。この情報の入手及び使用の方法を決めること。						
815	8.2.2	8.2.2 内部監査						
816	8.2.2	組織は、品質マネジメントシステムの次の事項が満たされているか否かを明確にするために、あらかじめ定められた間隔で内部監査を実施すること。						
817	8.2.2	a) 品質マネジメントシステムが、個別製品の実現の計画(7.1参照)に適合しているか、この規格の要求事項に適合しているか、及び組織が決めた品質マネジメントシステム要求事項に適合しているか。						
818	8.2.2	b) 品質マネジメントシステムが効果的に実施され、維持されているか。						

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMM I		
819	8.2.2	組織は、監査の対象となるプロセス及び領域の状態と重要性、並びにこれまでの監査結果を考慮して、監査プログラムを策定すること。監査の基準、範囲、頻度及び方法を規定すること。監査員の選定及び監査の実施においては、監査プロセスの客観性及び公平性を確保すること。監査員は自らの仕事は監査しないこと。						
820	8.2.2	監査の計画及び実施、結果の報告、記録の維持(4.2.4参照)に関する責任、並びに要求事項を“文書化された手順”の中で規定すること。						
821	8.2.2	監査された領域に責任をもつ管理者は、発見された不適合及びその原因を除去するために遅滞なく処置がとられることを確実にすること。フォローアップには、とられた処置の検証及び検証結果の報告を含めること(8.5.2参照)。						
822	8.2.2	監査された領域に責任をもつ管理者は、発見された不適合及びその原因を除去するために遅滞なく処置がとられることを確実にすること。フォローアップには、とられた処置の検証及び検証結果の報告を含めること(8.5.2参照)。						
823	8.2.2	参考 JIS Z 9911-1(品質システムの監査の指針 - 第1部：監査)、JIS Z 9911-2(品質システムの監査の指針 - 第2部：品質システム監査員の資格基準)及びJIS Z 9911-3(品質システムの監査の指針 - 第3部：監査プログラムの管理)を参照。						
824	8.2.2		L21	RM-VER3	ソフトウェア品質保証グループは、割り当てられた要件の管理活動と作業成果物をレビューかつ/または監査し、その結果を報告する。	2-1	REQM-GP2.9-VE1	「要件管理」プロセスの忠実さを、プロセス記述、標準、および手順に照らして客観的に評価し、非遵守に取り組む。

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

	ISO9001			SW - CMM			CMMI		
825	8.2.2		L22	SPP-VER3	ソフトウェア品質保証グループはソフトウェアプロジェクト計画の活動と作業成果物をレビューかつ/または監査し、その結果を報告する。	2-2	PP-GP2.9-VE1	適用される要件、目標、および標準に対するプロジェクト計画策定プロセス、プロセスの作業成果物およびサービスの忠実さを客観的に評価し、非遵守事項を扱	
826	8.2.2		L23	PTO-VER3	ソフトウェア品質保証グループは、ソフトウェアプロジェクト進捗管理の活動と作業成果物をレビューかつ/または監査し、その結果を報告する。	2-3	PMC-GP2.9-VE1	「プロジェクトの監視と制御」プロセスの忠実さを、プロセス記述、標準、および手順に照らして客観的に評価し、非遵守に取り組む。	
827	8.2.2		L24	SSM-VER3	ソフトウェア品質保証グループは、ソフトウェア外注管理の活動と作業成果物をレビューかつ/または監査し、その結果を報告する。	2-4	SAM-GP2.9-VE1	「供給者合意管理」プロセスの忠実さを、プロセス記述、標準、および手順に照らして客観的に評価し、非遵守に取り組む。	
828	8.2.2		L25	SQA-VER3	プロジェクトにおけるSQAグループの活動ならびにSQAグループのソフトウェア作業成果物は、SQAグループとは独立した専門家が定期的にレビューする。	2-5	MA-GP2.9-VE1	「測定と分析」プロセスの忠実さを、プロセス記述、標準、および手順に照らして客観的に評価し、非遵守に取り組む。	
829	8.2.2		L25	SQA-COM1	5.3参照	2-6	PPQA-SP1.1	適用されるプロセス記述、標準、および手順に対する、指定された実施済みのプロセスを客観的に評価する。	
830	8.2.2		L25	SQA-ACT2	8.2.3参照	2-6	PPQA-SP1.2	適用されるプロセス記述、標準、および手順に対する、指定された作業成果物およびサービスを客観的に評価する。	
831	8.2.2		L26	SCM-COM1	5.3参照	2-6	PPQA-SP2.1	品質課題を伝達し、要員および管理者とともに非遵守課題の解決を確実にする。	
832	8.2.2		L26	SCM-VER4	ソフトウェア品質保証グループは、SCMの活動と作業成果物をレビューかつ/または監査し、その結果を報告する。	2-6	PPQA-SP2.2	品質保証活動の記録を確立し維持する。	
833	8.2.2		L32	OPD-VER1	ソフトウェア品質保証グループは、「組織の標準ソフトウェアプロセス」および関連するプロセス資産の開発や維持のための組織活動と作業成果物をレビューかつ/または監視し、その成果を報告する。	2-6	PPQA-GP2.9-VE1	「プロセスと成果物の品質保証」プロセスの忠実さを、プロセス記述、標準、および手順に照らして客観的に評価し、非遵守に取り組む。	
834	8.2.2		L33	TP-VER3	トレーニングプログラムの活動と作業成果物は、レビューかつ/または監査され、その結果が報告される。	2-7	CM-GP2.9-VE1	「構成管理」プロセスの忠実さを、プロセス記述、標準、および手順に照らして客観的に評価し、非遵守に取り組む。	
835	8.2.2		L34	ISM-VER3	ソフトウェア品質保証グループは、ソフトウェアプロジェクト管理の活動と作業成果物をレビューかつ/または監査し、その結果を報告する。	3-1	RD-GP2.9-VE1	「要件開発」プロセスの忠実さを、プロセス記述、標準、および手順に照らして客観的に評価し、非遵守に取り組む。	
836	8.2.2		L35	SPE-VER3	ソフトウェア品質保証グループは、ソフトウェアプロダクトエンジニアリングの活動と作業成果物をレビューかつ/または監査し、その結果を報告する。	3-2	TS-GP2.9-VE1	「技術解」プロセスの忠実さを、プロセス記述、標準、および手順に照らして客観的に評価し、非遵守に取り組む。	
837	8.2.2		L36	IC-VER3	ソフトウェア品質保証グループは、グループ間調整の活動と作業成果物をレビューかつ/または監査し、その結果を	3-3	PI-GP2.9-VE1	「成果物統合」プロセスの忠実さを、プロセス記述、標準、および手順に照らして客観的に評価し、非遵守に取り組む。	

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

	ISO9001			SW - CMM			CMMI		
838	8.2.2		L37	PR-VER1	ソフトウェア品質保証グループは、ピアレビューの活動と作業成果物をレビューかつ/または監査し、その結果を報告する。	3-4	VER-GP2.9-VE1	「検証」プロセスの忠実さを、プロセス記述、標準、および手順に照らして客観的に評価し、非遵守に取り組む。	
839	8.2.2		L41	QPM-VER3	ソフトウェア品質保証グループは、定量的プロセス管理の活動と作業成果物をレビューかつ/または監査し、その結果を報告する。	3-5	VAL-GP2.9-VE1	「妥当性確認」プロセスの忠実さを、プロセス記述、標準、および手順に照らして客観的に評価し、非遵守に取り組む。	
840	8.2.2		L42	SQM-VER3	ソフトウェア品質保証グループは、ソフトウェア品質管理の活動と作業成果物をレビューかつ/または監査し、その結果を報告する。	3-6	OPF-GP2.9-VE1	「組織プロセス重視」プロセスの忠実さを、プロセス記述、標準、および手順に照らして客観的に評価し、非遵守に取り組む。	
841	8.2.2		L51	DP-VER3	ソフトウェア品質保証グループは、欠陥予防のための活動と作業成果物をレビューかつ/または監査し、その結果を報告する。	3-7	OPD-GP2.9-VE1	「組織プロセス定義」プロセスの忠実さを、プロセス記述、標準、および手順に照らして客観的に評価し、非遵守に取り組む。	
842	8.2.2		L52	TCM-VER2	ソフトウェア品質保証グループは、技術変更管理の活動と作業成果物をレビューかつ/または監査し、その結果を報告する。	3-8	OT-GP2.9-VE1	「組織トレーニング」プロセスの忠実さを、プロセス記述、標準、および手順に照らして客観的に評価し、非遵守に取り組む。	
843	8.2.2		L53	PCM-VER2	ソフトウェア品質保証グループは、ソフトウェアプロセス改善の活動と作業成果物をレビューかつ/または監査し、その結果を報告する。	3-9	IPM-GP2.9-VE1	「統合プロジェクト管理」プロセスの忠実さを、プロセス記述、標準、および手順に照らして客観的に評価し、非遵守に取り組む。	
844	8.2.2					3-10	RSKM-GP2.9-VE1	「リスク管理」プロセスの忠実さを、プロセス記述、標準、および手順に照らして客観的に評価し、非遵守に取り組む。	
845	8.2.2					3-11	IT-GP2.9-VE1	「統合チーム編成」プロセスの忠実さを、プロセス記述、標準、および手順に照らして客観的に評価し、非遵守に取り組む。	
846	8.2.2					3-12	DAR-GP2.9-VE1	「決定分析と解決」プロセスの忠実さを、プロセス記述、標準、および手順に照らして客観的に評価し、非遵守に取り組む。	
847	8.2.2					3-13	OE-GP2.9-VE1	「統合のための組織環境」プロセスの忠実さを、プロセス記述、標準、および手順に照らして客観的に評価し、非遵守に取り組む。	
848	8.2.2					4-1	OPP-GP2.9-VE1	適用される要件、目標、および標準に対する組織プロセス実績プロセス、プロセスの作業成果物およびサービスの忠実さを客観的に評価し、非遵守事項を扱う。	
849	8.2.2					4-2	QPM-GP2.9-VE1	適用される要件、目標、および標準に対する定量的プロジェクト管理プロセス、プロセスの作業成果物およびサービスの忠実さを客観的に評価し、非遵守事項を	

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

	ISO9001		SW - CMM			CMMI		
850	8.2.2					5-1	OID-GP2.9-VE1	適用される要件、目標、および標準に対する組織改革と展開プロセス、プロセスの作業成果物およびサービスの忠実さを客観的に評価し、非遵守事項を扱う。
851	8.2.2					5-2	CAR-GP2.9-VE1	適用される要件、目標、および標準に対する、原因分析と解決プロセス、プロセスの作業成果物およびサービスの忠実さを客観的に評価し、非遵守事項を扱う。
852	8.2.3	8.2.3 プロセスの監視及び測定						
853	8.2.3	組織は、品質マネジメントシステムのプロセスを適切な方法で監視し、適用可能な場合には、測定をすること。これらの方法は、プロセスが計画どおりの結果を達成する能力があることを実証するものであること。計画どおりの結果が達成できない場合には、製品の適合性の保証のために、適宜、修正及び是正処置をとること。						
854	8.2.3		L21	RM-MEA1	計測を行い、その結果を使用して、割り当てられた要件管理の活動状況を判断する。	2-1	REQM-GP2.8-DI3	「要件管理」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。
855	8.2.3		L21	RM-VER1	割り当てられた要件の管理活動は、上級管理層によって定期的にレビューされる。	2-1	REQM-GP2.10-VE2	「要件管理」プロセスの活動、状況、および結果を上位レベルの管理層と共にレビューし、課題を解決する。
856	8.2.3		L21	RM-VER2	割り当てられた要件の管理活動は、プロジェクトマネージャによって定期的に、かつイベント発生を契機としてレビューされる。	2-2	PP-SP2.3	プロジェクトデータの管理を計画する。
857	8.2.3		L22	SPP-VER1	ソフトウェアプロジェクト計画の活動は、上級管理層によって定期的にレビューされる。	2-2	PP-GP2.8-DI3	計画に対して、プロジェクト計画策定プロセスを監視し、制御し、そして適切な是正処置をとる。
858	8.2.3		L22	SPP-VER2	ソフトウェアプロジェクト計画の活動は、プロジェクトマネージャーによって定期的に、かつイベント発生を契機としてレビューされる。	2-2	PP-GP2.10-VE2	プロジェクト計画策定プロセスの活動、状況、および結果を上位レベルの管理層がレビューし、課題を解決する。
859	8.2.3		L23	PTO-ACT5	ソフトウェア作業成果物の規模（あるいはその変更規模）についての進捗を確認し、必要に応じて是正処置をとる。	2-3	PMC-SP1.1	プロジェクト計画に対して、プロジェクト計画策定パラメータの実際の値を監視する。
860	8.2.3		L23	PTO-ACT6	プロジェクトのソフトウェア工数とコストについての進捗を確認し、必要に応じて是正処置をとる。	2-3	PMC-SP1.2	プロジェクト計画で特定されたコミットメントに対して、コミットメントを監視する。

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			S W - C M M			C M M I		
861	8.2.3		L23	PT0-ACT7	プロジェクトの重要なコンピュータ資源の進捗を確認し、必要に応じて是正処置をとる。	2-3	PMC-SP1.3	プロジェクト計画で特定されたリスクに対して、リスクを監視する。
862	8.2.3		L23	PT0-ACT8	プロジェクトのソフトウェアスケジュールについての進捗を確認し、必要に応じて是正処置をとる。	2-3	PMC-SP1.4	プロジェクトデータの管理を監視する。
863	8.2.3		L23	PT0-ACT9	ソフトウェアエンジニアリング技術活動の進捗を確認し、必要に応じて是正処置をとる。	2-3	PMC-SP1.5	プロジェクト計画に対して、利害関係者の関与を監視する。
864	8.2.3		L23	PT0-ACT10	プロジェクトのコスト、資源、スケジュール、および技術面に関するソフトウェアリスクを確認する。	2-3	PMC-SP1.6	プロジェクトの進捗、実績、および課題を定期的にレビューする。
865	8.2.3		L23	PT0-ACT12	ソフトウェアエンジニアリンググループは定期的に内部レビューを行い、技術面での進展、計画、実績、および課題をソフトウェア開発計画に照らして進捗を確認する。	2-3	PMC-SP1.7	選択されたプロジェクトマイルストーンで、プロジェクトの成果と結果をレビューする。
866	8.2.3		L23	PT0-ACT13	ソフトウェアプロジェクトの成果と結果を取り上げるための公式レビューは、文書化された手順に従って、選定されたプロジェクトのマイルストーンで開催する。	2-3	PMC-GP2.8-DI3	「プロジェクトの監視と制御」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。
867	8.2.3		L23	PT0-MEA1	計測を行い、その結果を使用して、ソフトウェア進捗管理の活動状況を判断する。	2-3	PCM-GP2.10-VE2	「プロジェクトの監視と制御」プロセスの活動、状況、および結果を上位レベルの管理層と共にレビューし、課題を解決する。
868	8.2.3		L23	PT0-VER1	ソフトウェアプロジェクト進捗管理の活動は、上級管理層によって定期的にレビューされる。	2-4	SAM-GP2.8-DI3	「供給者合意管理」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。
869	8.2.3		L23	PT0-VER2	ソフトウェアプロジェクト進捗管理の活動は、プロジェクトマネージャによって定期的に、かつイベント発生を契機としてレビューされる。	2-4	SAM-GP2.10-VE2	「供給者合意管理」プロセスの活動、状況、および結果を上位レベルの管理層と共にレビューし、課題を解決する。
870	8.2.3		L24	SSM-ACT9	7.4参照	2-5	MA-SP2.1	明確化された測定データを獲得する。
871	8.2.3		L24	SSM-MEA1	計測を行い、その結果を使用して、ソフトウェア外注管理の活動状況を判断する。	2-5	MA-GP2.8-DI3	「測定と分析」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。
872	8.2.3		L24	SSM-VER1	ソフトウェア外注管理の活動は、上級管理層によって定期的にレビューされる。	2-5	MA-GP2.10-VE2	「測定と分析」プロセスの活動、状況、および結果を上位レベルの管理層と共にレビューし、課題を解決する。
873	8.2.3		L24	SSM-VER2	ソフトウェア外注管理の活動は、プロジェクトマネージャによって定期的に、かつイベント発生を契機としてレビュー	2-6	PPQA-SP1.1	適用されるプロセス記述、標準、および手順に対する、指定された実施済みのプロセスを客観的に評価する。
874	8.2.3		L25	SQA-ACT2	SQAグループの活動は、SQA計画に従って実施する。	2-6	PPQA-GP2.8-DI3	「プロセスと成果物の品質保証」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

	ISO9001			S W - C M M			C M M I		
875	8.2.3		L25	SQA-ACT4	SQAグループは、ソフトウェアエンジニアリング活動をレビューし、その遵守状況を検証する。	2-6	PPQA-GP2.10-VE2	「プロセスと成果物の品質保証」プロセスの活動、状況、および結果を上位レベルの管理層と共にレビューし、課題を解決する。	
876	8.2.3		L25	SQA-VER1	SQA活動は、上級管理層によって定期的にレビューされる。	2-7	CM-GP2.8-DI3	「構成管理」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。	
877	8.2.3		L25	SQA-VER2	SQA活動は、プロジェクトマネージャによって定期的に、かつイベント発生を契機としてレビューされる。	2-7	CM-GP2.10-VE2	「構成管理」プロセスの活動、状況、および結果を上位レベルの管理層と共にレビューし、課題を解決する。	
878	8.2.3		L25	SQA-COM1	5.3参照	3-1	RD-GP2.8-DI3	「要件開発」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。	
879	8.2.3		L25	SQA-ACT7	8.3参照	3-1	RD-GP2.10-VE2	「要件開発」プロセスの活動、状況、および結果を上位レベルの管理層と共にレビューし、課題を解決する。	
880	8.2.3		L26	SCM-COM1	5.3参照	3-1	RD-GP3.2-DI4	組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な利用および改善を支援するために、「要件開発」プロセスの計画策定および実施から導出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報を集め	
881	8.2.3		L26	SCM-VER1	SCMの活動は、上級管理層によって定期的にレビューされる。	3-2	TS-GP2.8-DI3	「技術解」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。	
882	8.2.3		L26	SCM-VER2	SCMの活動は、プロジェクトマネージャによって定期的に、かつイベント発生を契機としてレビューされる。	3-2	TS-GP2.10-VE2	「技術解」プロセスの活動、状況、および結果を上位レベルの管理層と共にレビューし、課題を解決する。	
883	8.2.3		L31	OPF-MEA1	計測を行い、その結果を使用して、組織プロセスの開発と改善の活動状況を判断する。	3-2	TS-GP3.2-DI4	組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な利用および改善を支援するために、「技術解」プロセスの計画策定および実施から導出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報を集め	
884	8.2.3		L32	OPD-MEA1	計測を行い、その結果を使用して、組織のプロセス定義の活動状況を判断する。	3-3	PI-GP3.2-DI4	組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な使用および改善を支援するために、プロダクト統合プロセスの計画策定および実施から導き出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報を集め	
885	8.2.3		L33	TP-MEA1	計測を行い、その結果を使用して、トレーニングプログラムの活動状況を判断する。	3-3	PI-GP2.8-DI3	「成果物統合」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。	
886	8.2.3		L33	TP-MEA2	計測を行い、その結果を使用して、トレーニングプログラムの品質を判断する。	3-3	PI-GP2.10-VE2	「成果物統合」プロセスの活動、状況、および結果を上位レベルの管理層と共にレビューし、課題を解決する。	
887	8.2.3		L33	TP-VER1	トレーニングプログラムの活動は、上級管理層によって定期的にレビューされる。	3-4	VER-GP2.8-DI3	「検証」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。	

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

	ISO9001		SW - CMM			CMMI		
888	8.2.3		L33	TP-VER2	トレーニングプログラムは、組織ニーズとの首尾一貫性や関連性について、定期的に独立して評価される。	3-4	VER-GP2.10-VE2	「検証」プロセスの活動、状況、および結果を上位レベルの管理層と共にレビューし、課題を解決する。
889	8.2.3		L34	ISM-VER1	ソフトウェアプロジェクト管理の活動は、上級管理層によって定期的にレビューされる。	3-4	VER-GP3.2-DI4	組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な利用および改善を支援するために、「検証」プロセスの計画策定および実施から導出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報を集める。
890	8.2.3		L34	ISM-VER2	ソフトウェアプロジェクト管理の活動は、プロジェクトマネージャによって定期的に、かつイベント発生を契機としてレビューされる。	3-5	VAL-GP2.8-DI3	「妥当性確認」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。
891	8.2.3		L34	ISM-ACT5	「組織のソフトウェアプロセスデータベース」は、ソフトウェアの計画と見積りに使用する。	3-5	VAL-GP2.10-VE2	「妥当性確認」プロセスの活動、状況、および結果を上位レベルの管理層と共にレビューし、課題を解決する。
892	8.2.3		L34	ISM-ACT11	ソフトウェアプロジェクトのレビューを定期的実施し、ソフトウェアプロジェクトの実際の行動や結果を事業、顧客、およびエンドユーザなどの現在および予測されるニーズに適宜調和させるのに必要な処置を決定する。	3-5	VAL-GP3.2-DI4	組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な利用および改善を支援するために、「妥当性確認」プロセスの計画策定および実施から導出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報を集める。
893	8.2.3		L34	ISM-MEA1	計測を行い、その結果を使用して、ソフトウェア統合管理活動の有効性を判断する。	3-6	OPF-GP2.8-DI3	「組織プロセス重視」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。
894	8.2.3		L35	SPE-MEA2	計測を行い、その結果を使用して、ソフトウェアプロダクトエンジニアリングの活動状況を判断する。	3-6	OPF-GP2.10-VE2	「組織プロセス重視」プロセスの活動、状況、および結果を上位レベルの管理層と共にレビューし、課題を解決する。
895	8.2.3		L35	SPE-VER1	ソフトウェアプロダクトエンジニアリングの活動は、上級管理層によって定期的にレビューされる。	3-6	OPF-GP3.2-DI4	組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な利用および改善を支援するために、「組織プロセス重視」プロセスの計画策定および実施から導出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報を集める。
896	8.2.3		L35	SPE-VER2	ソフトウェアプロダクトエンジニアリングの活動は、プロジェクトマネージャによって定期的に、かつイベント発生を契機としてレビューされる。	3-7	OPD-GP2.8-DI3	「組織プロセス定義」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。
897	8.2.3		L36	IC-MEA1	計測を行い、その結果を使用して、グループ間調整の活動状況を判断する。	3-7	OPD-GP2.10-VE2	「組織プロセス定義」プロセスの活動、状況、および結果を上位レベルの管理層と共にレビューし、課題を解決する。
898	8.2.3		L36	IC-VER1	グループ間調整の活動は、上級管理層によって定期的にレビューされる。	3-7	OPD-GP3.2-DI4	組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な利用および改善を支援するために、「組織プロセス定義」プロセスの計画策定および実施から導出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報を集める。

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

	ISO9001		SW - CMM			CMMI		
899	8.2.3		L36	IC-VER2	グループ間調整の活動は、プロジェクトマネージャによって定期的に、かつイベント発生を契機としてレビューされる。	3-8	OT-GP2.8-DI3	「組織トレーニング」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。
900	8.2.3		L37	PR-MEA1	計測を行い、その結果を使用して、ピアレビューの活動状況を判断する。	3-8	OT-GP2.10-VE2	「組織トレーニング」プロセスの活動、状況、および結果を上位レベルの管理層と共にレビューし、課題を解決する。
901	8.2.3		L37	PR-VER1	ソフトウェア品質保証グループは、ピアレビューの活動と作業成果物をレビューかつ/または監査し、その結果を報告する。	3-8	OT-GP3.2-DI4	組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な利用および改善を支援するために、「組織トレーニング」プロセスの計画策定および実施から導出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報
902	8.2.3		L41	QPM-MEA1	計測を行い、その結果を使用して、定量的プロセス管理の活動状況を判断する。	3-9	IPM-SP1.4	プロジェクト計画、従属計画、およびプロジェクトの定義されたプロセスを使用してプロジェクトを管理する。
903	8.2.3		L42	SQM-MEA1	計測を行い、その結果を使用して、ソフトウェア品質管理の活動状況を判断する。	3-9	IPM-GP2.8-DI3	「統合プロジェクト管理」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置を
904	8.2.3		L42	SQM-VER1	ソフトウェア品質管理の活動は、上級管理層によって定期的にレビューされる。	3-9	IPM-GP2.10-VE2	「統合プロジェクト管理」プロセスの活動、状況、および結果を上位レベルの管理層と共にレビューし、課題を解決す
905	8.2.3		L42	SQM-VER2	ソフトウェア品質管理の活動は、プロジェクトマネージャによって定期的に、かつイベント発生を契機としてレビューされる。	3-9	IPM-GP3.2-DI4	組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な利用および改善を支援するために、「統合プロジェクト管理」プロセスの計画策定および実施から導出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報を集める。
906	8.2.3		L51	DP-VER1	欠陥予防のための組織活動は、上級管理層によって定期的にレビューされる。	3-10	RSKM-SP3.2	各リスクの状況を定期的に監視し、リスク軽減計画を適宜実施する。
907	8.2.3		L52	TCM-ACT4	組織の技術変更管理に責任を持つグループは、「組織の標準ソフトウェアプロセス」を系統的に分析し、新技術を必要としたり、それにより利益を得る可能性がある領域を特定する。	3-10	RSKM-GP2.8-DI3	「リスク管理」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。
908	8.2.3		L52	TCM-MEA1	計測を行い、その結果を使用して、組織の技術変更管理の活動状況を判断する。	3-10	RSKM-GP2.10-VE2	「リスク管理」プロセスの活動、状況、および結果を上位レベルの管理層と共にレビューし、課題を解決する。
909	8.2.3		L52	TCM-VER1	組織の技術変更管理の活動は、上級管理層によって定期的にレビューされる。	3-10	RSKM-GP3.2-DI4	組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な利用および改善を支援するために、「リスク管理」プロセスの計画策定および実施から導出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報を集め
910	8.2.3		L53	PCM-MEA1	計測を行い、その結果を使用して、ソフトウェアプロセス改善の活動状況を判断する。	3-11	IT-GP2.8-DI3	「統合チーム編成」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMMI		
911	8.2.3		L53	PCM-VER1	ソフトウェアプロセス改善の活動は、上級管理層によって定期的にレビューされる。	3-11	IT-GP2.10-VE2	「統合チーム編成」プロセスの活動、状況、および結果を上位レベルの管理層と共にレビューし、課題を解決する。
912	8.2.3		L41	QPM-VER1	定量的プロセス管理の活動は、上級管理層によって定期的にレビューされる。	3-11	IT-GP3.2-DI4	組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な利用および改善を支援するために、「統合チーム編成」プロセスの計画策定および実施から導出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報を
913	8.2.3		L41	QPM-VER2	定量的プロセス管理に対するソフトウェアプロジェクトの活動は、プロジェクトマネージャによって定期的に、かつイベント発生を契機としてレビューされる。	3-12	DAR-GP2.8-DI3	「決定分析と解決」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。
914	8.2.3		L51	DP-VER2	ソフトウェアプロジェクトの欠陥予防のための活動は、プロジェクトマネージャによって定期的に、かつイベント発生を契機としてレビューされる。	3-12	DAR-GP2.10-VE2	「決定分析と解決」プロセスの活動、状況、および結果を上位レベルの管理層と共にレビューし、課題を解決する。
915	8.2.3					3-12	DAR-GP3.2-DI4	組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な利用および改善を支援するために、「決定分析と解決」プロセスの計画策定および実施から導出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報を
916	8.2.3					3-13	OE-GP2.8-DI3	「統合のための組織環境」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。
917	8.2.3					3-13	OE-GP2.10-VE2	「統合のための組織環境」プロセスの活動、状況、および結果を上位レベルの管理層と共にレビューし、課題を解決する。
918	8.2.3					3-13	OE-GP3.2-DI4	組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な利用および改善を支援するために、「統合のための組織環境」プロセスの計画策定および実施から導出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報を集める。
919	8.2.3					4-1	OPP-GP2.8-DI3	計画に対して、組織プロセス実績プロセスを監視し、制御し、そして適切な是正処置をとる。
920	8.2.3					4-1	OPP-GP3.2-DI4	組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な使用および改善を支援するために、組織プロセス実績プロセスの計画策定および実施から導き出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報を
921	8.2.3					4-1	OPP-GP2.10-VE2	組織プロセス実績プロセスの活動、状況、および結果を上位レベルの管理層がレビューし、課題を解決する。

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMMI		
922	8.2.3					4-2	QPM-SP2.3	選択されたサブプロセスの実績を監視して、そのサブプロセスに品質およびプロセス実績目標を満たす能力があるかどうかを判断し、必要に応じて是正処置をとる。
923	8.2.3					4-2	QPM-GP2.8-DI3	計画に対して、定量的プロジェクト管理プロセスを監視し、制御し、そして適切な是正処置をとる。
924	8.2.3					4-2	QPM-GP3.2-DI4	組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な使用および改善を支援するために、定量的プロジェクト管理プロセスの計画策定および実施から導き出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報を収集する。
925	8.2.3					4-2	QPM-GP2.10-VE2	定量的プロジェクト管理プロセスの活動、状況、および結果を上位レベルの管理層がレビューし、課題を解決する。
926	8.2.3					5-1	OID-GP2.8-DI3	計画に対して、組織改革と展開プロセスを監視し、制御し、そして適切な是正処置をとる。
927	8.2.3					5-1	OID-GP3.2-DI4	組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な使用および改善を支援するために、組織改革と展開プロセスの計画策定および実施から導き出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報を組織改革と展開プロセスの活動、状況、および結果を上位レベルの管理層がレビューし、課題を解決する。
928	8.2.3					5-1	OID-GP2.10-VE2	組織改革と展開プロセスの活動、状況、および結果を上位レベルの管理層がレビューし、課題を解決する。
929	8.2.3					5-2	CAR-GP2.8-DI3	計画に対して、原因分析と解決プロセスを監視し、制御し、そして適切な是正処置をとる。
930	8.2.3					5-2	CAR-GP3.2-DI4	組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な使用および改善を支援するために、原因分析と解決プロセスの計画策定および実施から導き出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報を原因分析と解決プロセスの活動、状況、および結果を上位レベルの管理層がレビューし、課題を解決する。
931	8.2.3					5-2	CAR-GP2.10-VE2	原因分析と解決プロセスの活動、状況、および結果を上位レベルの管理層がレビューし、課題を解決する。
932	8.2.4	8.2.4 製品の監視及び測定						

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMM I		
933	8.2.4	組織は、製品要求事項が満たされていることを検証するために、製品の特性を監視し、測定すること。監視及び測定は、個別製品の実現の計画(7.1参照)に従って、製品実現の適切な段階で実施すること。						
934	8.2.4	合否判定基準への適合の証拠を維持すること。記録には、製品のリリース(次工程への引渡し又は出荷)を正式に許可した人を明記すること(4.2.4参照)。						
935	8.2.4	個別製品の実現の計画(7.1参照)で決めたことが問題なく完了するまでは、製品のリリース(出荷)及びサービス提供は行わないこと。ただし、当該の権限をもつ者が承認したとき、及び該当する場合に顧客が承認したときは、この限りではない。						
936	8.2.4		L24	SSM-ACT12	7.4.3参照	2-1	REQM-SP1.5	プロジェクト計画および作業成果物と要件の間の不整合を特定する。
937	8.2.4		L25	SQA-ACT5	SQAグループは、指定されたソフトウェア作業成果物を監査し、その遵守状況を検証する。	2-2	PP-SP2.3	プロジェクトデータの管理を計画する。
938	8.2.4		L25	SQA-ACT2	8.2.3参照	2-3	PMC-SP1.7	選択されたプロジェクトマイルストーンで、プロジェクトの成果と結果をレビューする。
939	8.2.4		L35	SPE-ACT9	「プロジェクトの定義されたソフトウェアプロセス」に従って、ピアレビューやテストで特定された欠陥のデータを収集し分析する。	2-5	MA-SP2.1	明確化された測定データを獲得する。
940	8.2.4		L35	SPE-MEA1	計測を行い、その結果を使用して、ソフトウェア成果物の機能充足性と品質を判断する。	2-6	PPQA-SP1.2	適用されるプロセス記述、標準、および手順に対する、指定された作業成果物およびサービスを客観的に評価する。
941	8.2.4		L42	SQM-ACT3	ソフトウェアライフサイクルを通じて、ソフトウェア成果物に対するプロジェクトの定量的品質目標を、定義し、モニターし、そして改訂する。	3-1	RD-GP3.2-D14	組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な利用および改善を支援するために、「要件開発」プロセスの計画策定および実施から導出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報を集め

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

	ISO9001		SW - CMM			CMMI		
942	8.2.4		L42	SQM-ACT4	プロジェクトのソフトウェア成果物の品質は、イベント発生を契機として計測し、分析し、そして成果物の定量的品質目標との比較を行う。	3-2	TS-GP3.2-DI4	組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な利用および改善を支援するために、「技術解」プロセスの計画策定および実施から導出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報を集め
943	8.2.4					3-3	PI-SP3.3	組み立てられたプロダクトコンポーネントを検査する。
944	8.2.4					3-3	PI-GP3.2-DI4	組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な使用および改善を支援するために、プロダクト統合プロセスの計画策定および実施から導き出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報を
945	8.2.4					3-4	VER-SP3.2	すべての検証活動の結果を分析し、是正処置を特定する。
946	8.2.4					3-4	VER-GP3.2-DI4	組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な利用および改善を支援するために、「検証」プロセスの計画策定および実施から導出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報を集める。
947	8.2.4					3-5	VAL-GP3.2-DI4	組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な利用および改善を支援するために、「妥当性確認」プロセスの計画策定および実施から導出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報を集め
948	8.2.4					3-6	OPF-GP3.2-DI4	組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な利用および改善を支援するために、「組織プロセス重視」プロセスの計画策定および実施から導出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報
949	8.2.4					3-7	OPD-GP3.2-DI4	組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な利用および改善を支援するために、「組織プロセス定義」プロセスの計画策定および実施から導出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報
950	8.2.4					3-8	OT-GP3.2-DI4	組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な利用および改善を支援するために、「組織トレーニング」プロセスの計画策定および実施から導出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報
951	8.2.4					3-9	IPM-GP3.2-DI4	組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な利用および改善を支援するために、「統合プロジェクト管理」プロセスの計画策定および実施から導出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報を集める。

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

	ISO9001		SW - CMM			CMMI		
952	8.2.4					3-10	RSKM-SP3.2	各リスクの状況を定期的に監視し、リスク軽減計画を適宜実施する。
953	8.2.4					3-11	RSKM-GP3.2-DI4	組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な利用および改善を支援するために、「リスク管理」プロセスの計画策定および実施から導出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報を集める。
954	8.2.4					3-12	DAR-GP3.2-DI4	組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な利用および改善を支援するために、「決定分析と解決」プロセスの計画策定および実施から導出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報を集める。
955	8.2.4					3-13	OE-GP3.2-DI4	組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な利用および改善を支援するために、「統合のための組織環境」プロセスの計画策定および実施から導出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報を集める。
956	8.2.4					4-1	OPP-GP3.2-DI4	組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な使用および改善を支援するために、組織プロセス実績プロセスの計画策定および実施から導き出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報を集める。
957	8.2.4					4-2	QPM-SP2.3	選択されたサブプロセスの実績を監視して、そのサブプロセスに品質およびプロセス実績目標を満たす能力があるかどうかを判断し、必要に応じて是正処置をとる。
958	8.2.4					4-2	QPM-GP3.2-DI4	組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な使用および改善を支援するために、定量的プロジェクト管理プロセスの計画策定および実施から導き出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報を収集する。
959	8.2.4					5-1	OID-GP3.2-DI4	組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な使用および改善を支援するために、組織改革と展開プロセスの計画策定および実施から導き出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報を集める。
960	8.2.4					5-2	CAR-GP3.2-DI4	組織のプロセスおよびプロセス資産の将来的な使用および改善を支援するために、原因分析と解決プロセスの計画策定および実施から導き出された作業成果物、尺度、測定結果、および改善情報を集める。
961	8.3	8.3 不適合製品の管理						

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMM I		
962	8.3	組織は、製品要求事項に適合しない製品が誤って使用されたり、又は引き渡されることを防ぐために、それらを識別し、管理することを確実にすること。不適合製品の処理に関する管理及びそれに関連する責任及び権限を“文書化された手順”に規定すること。						
963	8.3	組織は、次のいずれかの方法で、不適合製品を処理すること。						
964	8.3	a) 発見された不適合を除去するための処置をとる。						
965	8.3	b) 当該の権限をもつ者、及び該当する場合に顧客が、特別採用によって、その使用、リリース(次工程への引渡し)若しくは出荷、又は合格と判定することを正式に許可する。						
966	8.3	c) 本来の意図された使用又は適用ができないような処置をとる。						
967	8.3	参考 “c) 本来の意図された使用又は適用ができないような処理をとる” とは“廃棄すること”を含む。						
968	8.3	不適合の性質の記録及び、不適合に対してとられた特別採用を含む処置の記録を維持すること(4.2.4参照)。						
969	8.3	不適合製品に修正を施した場合には、要求事項への適合性を実証するための再検証を行うこと。						
970	8.3	引渡し後又は使用開始後に不適合製品が検出された場合には、組織は、その不適合による影響又は起こり得る影響に対して適切な処置をとること。						
971	8.3		L25	SQA-ACT7	ソフトウェア活動やソフトウェア作業成果物について特定された逸脱事項は、文書化された手順に従って文書化し取り扱	2-6	PPQA-SP2.1	品質課題を伝達し、要員および管理者とともに非遵守課題の解決を確実にする。
972	8.3		L35	SPE-ACT9	「プロジェクトの定義されたソフトウェアプロセス」に従って、ピアレビューやテストで特定された欠陥のデータを収集し分析する。			
973	8.4	8.4 データの分析						

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMM I		
974	8.4	組織は、品質マネジメントシステムの適切性及び有効性を実証するため、また、品質マネジメントシステムの有効性の継続的な改善の可能性を評価するために適切なデータを明確にし、それらのデータを収集し、分析すること。この中には、監視及び測定の結果から得られたデータ及びそれ以外の該当する情報源からのデータを含めること。						
975	8.4	データの分析によって、次の事項に関連する情報を提供すること。						
976	8.4	a) 顧客満足(8.2.1参照)						
977	8.4	b) 製品要求事項への適合性(7.2.1参照)						
978	8.4	c) 予防処置の機会を得ることを含む、プロセスと製品の特性及び傾向						
979	8.4	d) 供給者						
980	8.4		L21	RM-MEA1	計測を行い、その結果を使用して、割り当てられた要件管理の活動状況を判断す	2-3	PMC-SP2.1	課題を集め、分析し、そして課題を取り上げるために必要な是正処置を判断す
981	8.4		L22	SPP-ACT15	ソフトウェア計画策定に関するデータを記録する。	2-5	MA-SP2.2	測定データを分析し解釈する。
982	8.4		L22	SPP-MEA1	計測を行い、その結果を使用して、ソフトウェア計画策定の活動状況を判断す	2-5	MA-SP2.3	測定データ、測定仕様、および分析結果を管理し格納する。
983	8.4		L23	PTO-ACT11	ソフトウェアプロジェクトの実計測データと再計画データを記録する。	2-5	MA-SP2.4	影響を受けるすべての利害関係者に、測定と分析活動の結果を報告する。
984	8.4		L23	PTO-MEA1	計測を行い、その結果を使用して、ソフトウェア進捗管理の活動状況を判断す	3-4	VER-SP2.3	ピアレビューの準備、実施、および結果に関するデータを分析する。
985	8.4		L24	SSM-MEA1	計測を行い、その結果を使用して、ソフトウェア外注管理の活動状況を判断す	3-5	VAL-SP2.2	妥当性確認活動の結果を記述し、分析し、そして課題を特定する。
986	8.4		L25	SQA-MEA1	計測を行い、その結果を使用して、SQA活動のコストやスケジュール状況を判断する。	4-1	OPP-SP1.1	組織のプロセス実績分析に含まれるべき一連の組織標準プロセスから、プロセスまたはプロセス要素を選択する。
987	8.4		L26	SCM-MEA1	計測を行い、その結果を使用して、SCMの活動状況を判断する。	4-1	OPP-SP1.2	組織のプロセス実績分析に含まれるべき尺度の定義を確立し維持する。
988	8.4		L31	OPF-MEA1	計測を行い、その結果を使用して、組織プロセスの開発と改善の活動状況を判断する。	4-1	OPP-SP1.3	組織の品質およびプロセス実績の定量的目標を確立し維持する。
989	8.4		L32	OPD-ACT5	「組織のソフトウェアプロセスデータベース」を確立し維持する。	4-1	OPP-SP1.4	組織のプロセス実績ベースラインを確立し維持する。
990	8.4		L32	OPD-ACT6	「ソフトウェアプロセス関連文書のライブラリ」を確立し維持する。	4-2	QPM-SP2.1	選択されたサブプロセスの統計的管理に使用される尺度および分析的技法を選択する。

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMMI		
991	8.4		L32	OPD-MEA1	計測を行い、その結果を使用して、組織のプロセス定義の活動状況を判断する。	4-2	QPM-SP2.2	選択された尺度および分析的技法を使用して、選択されたサブプロセスの差異の理解を確立し維持する。
992	8.4		L33	TP-MEA1	計測を行い、その結果を使用して、トレーニングプログラムの活動状況を判断	4-2	QPM-SP2.4	組織の測定リポジトリに統計および品質管理データを記録する。
993	8.4		L33	TP-MEA2	計測を行い、その結果を使用して、トレーニングプログラムの品質を判断す	5-1	OID-SP1.1	プロセスおよび技術改善提案を集め、分析する。
994	8.4		L34	ISM-ACT5	「組織のソフトウェアプロセスデータベース」は、ソフトウェアの計画と見積りに使用する。	5-1	OID-SP1.2	組織の品質およびプロセス実績を向上させる改革的な改善策を特定する。
995	8.4		L34	ISM-MEA1	計測を行い、その結果を使用して、ソフトウェア統合管理活動の有効性を判断す	5-1	OID-SP1.3	プロセスおよび技術改善策を試行試験して、実行する改善策を選択する。
996	8.4		L35	SPE-ACT9	「プロジェクトの定義されたソフトウェアプロセス」に従って、ピアレビューやテストで特定された欠陥のデータを収集し分析する。	5-1	OID-SP1.4	組織横断的な展開のプロセスおよび技術改善提案を選択する。
997	8.4		L35	SPE-MEA1	計測を行い、その結果を使用して、ソフトウェア成果物の機能充足性と品質を判断する。			
998	8.4		L35	SPE-MEA2	計測を行い、その結果を使用して、ソフトウェアプロダクトエンジニアリングの活動状況を判断する。			
999	8.4		L36	IC-MEA1	計測を行い、その結果を使用して、グループ間調整の活動状況を判断する。			
1000	8.4		L37	PR-MEA1	計測を行い、その結果を使用して、ピアレビューの活動状況を判断する。			
1001	8.4		L41	QPM-ACT3	実施するデータ収集と定量的分析の戦略は、「プロジェクトの定義されたソフトウェアプロセス」に基づいて決定する。			
1002	8.4		L41	QPM-ACT4	「プロジェクトの定義されたソフトウェアプロセス」を定量的に制御するために用いられる計測データは、文書化された手順に従って収集する。			
1003	8.4		L41	QPM-ACT5	「プロジェクトの定義されたソフトウェアプロセス」は、文書化された手順に従って分析し、定量的な制御下に置			
1004	8.4		L41	QPM-ACT6	ソフトウェアプロジェクトの定量的プロセス管理活動の結果について文書化した報告書を作成し、配布する。			
1005	8.4		L41	QPM-ACT7	「組織の標準ソフトウェアプロセス」に対するプロセス能力ベースラインは、文書化された手順に従って確立され維持される。			
1006	8.4		L41	QPM-MEA1	計測を行い、その結果を使用して、定量的プロセス管理の活動状況を判断する。			

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMMI		
1007	8.4		L42	SQM-ACT4	プロジェクトのソフトウェア成果物の品質は、イベント発生を契機として計測し、分析し、そして成果物の定量的品質目標との比較を行う。			
1008	8.4		L42	SQM-MEA1	計測を行い、その結果を使用して、ソフトウェア品質管理の活動状況を判断する。			
1009	8.4		L51	DP-MEA1	計測を行い、その結果を使用して、欠陥予防の活動状況を判断する。			
1010	8.4		L52	TCM-MEA1	計測を行い、その結果を使用して、組織の技術変更管理の活動状況を判断する。			
1011	8.4		L53	PCM-MEA1	計測を行い、その結果を使用して、ソフトウェアプロセス改善の活動状況を判断する。			
1012	8.5	8.5 改善						
1013	8.5		L31	OPF-ACT2	組織は、ソフトウェアプロセスの開発と改善活動に関する計画を策定し保守する。			
1014	8.5		L31	OPF-ACT3	ソフトウェアプロセスの開発と改善に関して、組織やプロジェクトの活動を組織レベルで調整する。			
1015	8.5		L31	OPF-ACT4	「組織のソフトウェアプロセスデータベース」の使用について、組織レベルで調整する。			
1016	8.5		L51	DP-ACT3	文書化された手順に従って原因分析会議を開催する。			
1017	8.5		L51	DP-ACT4	欠陥予防活動を調整するために割り当てられた各チームは、原因分析会議から出される処置提案の履行について、レビューし調整するために、定期的に会議			
1018	8.5		L51	DP-ACT5	欠陥予防データを文書化し、欠陥予防活動を調整しているチーム間で横断的に進捗を確認する。			
1019	8.5		L51	DP-ACT6	欠陥予防処置に伴う「組織の標準ソフトウェアプロセス」の改訂は、文書化された手順に従って組み込む。			
1020	8.5		L51	DP-ACT8	ソフトウェアエンジニアリンググループとソフトウェアに関連したグループのメンバーは、組織とプロジェクトの欠陥予防活動の状況と結果について、フィードバックを定期的に受ける。			
1021	8.5		L51	DP-MEA1	計測を行い、その結果を使用して、欠陥予防の活動状況を判断する。			
1022	8.5		L52	TCM-ACT2	組織の技術変更管理活動に責任を持つグループは、ソフトウェアプロジェクトと作業し技術変更領域を特定する。			

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMMI		
1023	8.5		L52	TCM-ACT4	組織の技術変更管理に責任を持つグループは、「組織の標準ソフトウェアプロセス」を系統的に分析し、新技術を必要としたり、それにより利益を得る可能性がある領域を特定する。			
1024	8.5		L52	TCM-ACT5	文書化された手順に従って、組織およびソフトウェアプロジェクトのための技術を選択し獲得する。			
1025	8.5		L52	TCM-ACT6	新技術を正規のプラクティスとして導入する前に、適宜、技術を改善するための試行作業を行う。			
1026	8.5		L52	TCM-ACT7	文書化された手順に従って、「組織の標準ソフトウェアプロセス」に適切な新技術を組み込む。			
1027	8.5		L52	TCM-ACT8	文書化された手順に従って、「プロジェクトの定義されたソフトウェアプロセス」に適切な新技術を組み込む。			
1028	8.5		L53	PCM-ACT10	ソフトウェアのマネージャや技術要員は、イベント発生を契機として、ソフトウェアプロセス改善活動の状況と結果のフィードバックを受ける。			
1029	8.5		L53	PCM-ACT2	組織のソフトウェアプロセス活動に関して責任のあるグループ（例えば、ソフトウェアエンジニアリングプロセスグループ）は、ソフトウェアプロセス改善活動を調整する。			
1030	8.5		L53	PCM-ACT3	組織は、文書化された手順に従って、ソフトウェアプロセス改善の計画を策定し保守する。			
1031	8.5		L53	PCM-ACT4	ソフトウェアプロセス改善活動は、ソフトウェアプロセス改善計画に従って実施する。			
1032	8.5		L53	PCM-ACT5	ソフトウェアプロセス改善提案は、文書化された手順に従って取扱われる。			
1033	8.5		L53	PCM-ACT6	組織のメンバは、割り当てられたプロセスエリアでソフトウェアプロセス改善策を作成するため、積極的にチームに参加			
1034	8.5		L53	PCM-ACT7	ソフトウェアプロセス改善策を適宜、試行的に導入して、正規のプラクティスに組み込む前に利点や有効性を判断する。			
1035	8.5		L53	PCM-ACT8	改善策を正規のプラクティスとして組み込むことを決定した場合、文書化された手順に従って履行する。			
1036	8.5		L53	PCM-ACT9	ソフトウェアプロセス改善活動の記録を維持する。			

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMMI		
1037	8.5		L51	DP-ACT7	欠陥予防処置に伴う「プロジェクトの定義されたソフトウェアプロセス」の改訂は、文書化された手順に従って組み込			
1038	8.5.1	8.5.1 継続的改善						
1039	8.5.1	組織は、品質方針、品質目標、監査結果、データの分析、是正処置、予防処置及びマネジメントレビューを通じて、品質マネジメントシステムの有効性を継続的に改善すること。						
1040	8.5.1					3-6	OPF-SP2.1	組織のプロセスおよび関連プロセス資産に対する改善策を取り上げたプロセス処置計画を確立し維持する。
1041	8.5.1					3-6	OPF-SP2.2	プロセス処置計画を組織横断的に実施する。
1042	8.5.1					3-6	OPF-SP2.3	プロセスおよび関連プロセス資産を組織横断的に展開する。
1043	8.5.1					3-6	OPF-SP2.4	プロセスの計画策定および実施から導き出されたプロセス関連作業成果物、尺度、および改善情報を組織のプロセス資産に組み込む。
1044	8.5.1					3-9	IPM-SP1.5	作業成果物、尺度および文書化された経験を組織のプロセス資産に提供する。
1045	8.5.1					5-1	OID-SP1.1	プロセスおよび技術改善提案を集め、分析する。
1046	8.5.1					5-1	OID-SP1.2	組織の品質およびプロセス実績を向上させる改革的な改善策を特定する。
1047	8.5.1					5-1	OID-SP1.3	プロセスおよび技術改善策を試行試験して、実行する改善策を選択する。
1048	8.5.1					5-1	OID-SP1.4	組織横断的な展開のプロセスおよび技術改善提案を選択する。
1049	8.5.1					5-1	OID-SP2.1	選択されたプロセスおよび技術改善策の展開の計画を確立し維持する。
1050	8.5.1					5-1	OID-SP2.2	選択されたプロセスおよび技術改善策の展開を管理する。
1051	8.5.1					5-1	OID-SP2.3	選択されたプロセスおよび技術改善策の効果を測定する。
1052	8.5.1					5-2	CAR-SP1.1	分析する欠陥およびその他の問題を選択する。
1053	8.5.1					5-2	CAR-SP1.2	選択された欠陥およびその他の問題の原因分析を実施し、その原因に対応する処置を提案する。
1054	8.5.1					5-2	CAR-SP2.1	原因分析で作成された、選択された処置提案を実施する。

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

	ISO9001		SW - CMM			CMMI		
1055	8.5.1					5-2	CAR-SP2.2	プロセス実績に対する変更の影響を評価する。
1056	8.5.1					5-2	CAR-SP2.3	プロジェクト横断的および組織横断的に使用するために、原因分析と解決データを記録する。
1057	8.5.2	8.5.2 是正処置						
1058	8.5.2	組織は、再発防止のため、不適合の原因を除去する処置をとること。是正処置は、発見された不適合のもつ影響に見合うものであること。						
1059	8.5.2	次の事項に関する要求事項を規定するために“文書化された手順”を確立すること。						
1060	8.5.2	a) 不適合(顧客からの苦情を含む)の内容確認						
1061	8.5.2	b) 不適合の原因の特定						
1062	8.5.2	c) 不適合の再発防止を確実にするための処置の必要性の評価						
1063	8.5.2	d) 必要な処置の決定及び実施						
1064	8.5.2	e) とった処置の結果の記録(4.2.4参照)						
1065	8.5.2	f) 是正処置において実施した活動のレビュー						
1066	8.5.2	参考 f)における“是正処置において実施した活動”とは、a)～e)の一連の活動のことである。						
1067	8.5.2					2-1	REQM-GP2.8-DI3	「要件管理」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。
1068	8.5.2					2-2	PP-GP2.8-DI3	計画に対して、プロジェクト計画策定プロセスを監視し、制御し、そして適切な是正処置をとる。
1069	8.5.2					2-3	PMC-SP2.2	特定された課題に対して、是正処置をとる。
1070	8.5.2					2-3	PMC-SP2.3	是正処置を終結まで管理する。
1071	8.5.2					2-3	PMC-GP2.8-DI3	「プロジェクトの監視と制御」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。
1072	8.5.2					2-4	SAM-GP2.8-DI3	「供給者合意管理」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

	ISO9001		SW - CMM			CMMI		
1073	8.5.2					2-5	MA-GP2.8-DI3	「測定と分析」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。
1074	8.5.2					2-6	PPQA-SP2.1	品質課題を伝達し、要員および管理者とともに非遵守課題の解決を確実にする。
1075	8.5.2					2-6	PPQA-GP2.8-DI3	「プロセスと成果物の品質保証」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。
1076	8.5.2					2-7	CM-GP2.8-DI3	「構成管理」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。
1077	8.5.2					3-1	RD-GP2.8-DI3	「要件開発」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。
1078	8.5.2					3-2	TS-GP2.8-DI3	「技術解」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。
1079	8.5.2					3-3	PI-GP2.8-DI3	「成果物統合」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。
1080	8.5.2					3-4	VER-SP3.2	すべての検証活動の結果を分析し、是正処置を特定する。
1081	8.5.2					3-4	VER-GP2.8-DI3	「検証」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。
1082	8.5.2					3-5	VAL-GP2.8-DI3	「妥当性確認」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。
1083	8.5.2					3-6	OPF-GP2.8-DI3	「組織プロセス重視」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。
1084	8.5.2					3-7	OPD-GP2.8-DI3	「組織プロセス定義」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。
1085	8.5.2					3-8	OT-GP2.8-DI3	「組織トレーニング」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。
1086	8.5.2					3-9	IPM-GP2.8-DI3	「統合プロジェクト管理」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。
1087	8.5.2					3-10	RSKM-GP2.8-DI3	「リスク管理」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMMI		
1088	8.5.2					3-11	IT-GP2.8-DI3	「統合チーム編成」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。
1089	8.5.2					3-12	DAR-GP2.8-DI3	「決定分析と解決」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。
1090	8.5.2					3-13	OE-GP2.8-DI3	「統合のための組織環境」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。
1091	8.5.2					4-1	OPP-GP2.8-DI3	計画に対して、組織プロセス実績プロセスを監視し、制御し、そして適切な是正処置をとる。
1092	8.5.2					4-2	QPM-SP2.3	選択されたサブプロセスの実績を監視して、そのサブプロセスに品質およびプロセス実績目標を満たす能力があるかどうかを判断し、必要に応じて是正処置をとる。
1093	8.5.2					4-2	QPM-GP2.8-DI3	計画に対して、定量的プロジェクト管理プロセスを監視し、制御し、そして適切な是正処置をとる。
1094	8.5.2					5-1	OID-GP2.8-DI3	計画に対して、組織改革と展開プロセスを監視し、制御し、そして適切な是正処置をとる。
1095	8.5.2					5-2	CAR-SP1.1	分析する欠陥およびその他の問題を選択する。
1096	8.5.2					5-2	CAR-SP1.2	選択された欠陥およびその他の問題の原因分析を実施し、その原因に対応する処置を提案する。
1097	8.5.2					5-2	CAR-SP2.1	原因分析で作成された、選択された処置提案を実施する。
1098	8.5.2					5-2	CAR-SP2.2	プロセス実績に対する変更の影響を評価する。
1099	8.5.2					5-2	CAR-SP2.3	プロジェクト横断的および組織横断的に使用するために、原因分析と解決データを記録する。
1100	8.5.2					5-2	CAR-GP2.8-DI3	計画に対して、原因分析と解決プロセスを監視し、制御し、そして適切な是正処置をとる。
1101	8.5.3	8.5.3 予防処置						
1102	8.5.3	組織は、起こり得る不適合が発生することを防止するために、その原因を除去する処置を決めること。予防処置は、起こり得る問題の影響に見合ったものであること。						
1103	8.5.3	次の事項に関する要求事項を規定するために“文書化された手順”を確立すること。						

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

ISO9001			SW - CMM			CMM I		
1104	8.5.3	a) 起こり得る不適合及びその原因の特定						
1105	8.5.3	b) 不適合の発生を予防するための処置の必要性の評価						
1106	8.5.3	c) 必要な処置の決定及び実施						
1107	8.5.3	d) とった処置の結果の記録(4.2.4参照)						
1108	8.5.3	e) 予防処置において実施した活動のレビュー						
1109	8.5.3	参考 e)における“予防処置において実施した活動”とは、a)～d)の一連の活動のことである。						
1110	8.5.3					2-1	REQM-GP2.8-DI3	「要件管理」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。
1111	8.5.3					2-2	PP-GP2.8-DI3	計画に対して、プロジェクト計画策定プロセスを監視し、制御し、そして適切な是正処置をとる。
1112	8.5.3					2-3	PMC-SP2.2	特定された課題に対して、是正処置をとる。
1113	8.5.3					2-3	PMC-SP2.3	是正処置を終結まで管理する。
1114	8.5.3					2-3	PMC-GP2.8-DI3	「プロジェクトの監視と制御」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。
1115	8.5.3					2-4	SAM-GP2.8-DI3	「供給者合意管理」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。
1116	8.5.3					2-5	MA-GP2.8-DI3	「測定と分析」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。
1117	8.5.3					2-6	PPQA-SP2.1	品質課題を伝達し、要員および管理者とともに非遵守課題の解決を確実にする。
1118	8.5.3					2-6	PPQA-GP2.8-DI3	「プロセスと成果物の品質保証」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。
1119	8.5.3					2-7	CM-GP2.8-DI3	「構成管理」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。
1120	8.5.3					3-1	RD-GP2.8-DI3	「要件開発」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。
1121	8.5.3					3-2	TS-GP2.8-DI3	「技術解」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

	ISO9001		SW - CMM			CMMI	
1122	8.5.3					3-3	PI-GP2.8-DI3 「成果物統合」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。
1123	8.5.3					3-4	VER-SP3.2 すべての検証活動の結果を分析し、是正処置を特定する。
1124	8.5.3					3-4	VER-GP2.8-DI3 「検証」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。
1125	8.5.3					3-5	VAL-GP2.8-DI3 「妥当性確認」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。
1126	8.5.3					3-6	OPF-GP2.8-DI3 「組織プロセス重視」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。
1127	8.5.3					3-7	OPD-GP2.8-DI3 「組織プロセス定義」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。
1128	8.5.3					3-8	OT-GP2.8-DI3 「組織トレーニング」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。
1129	8.5.3					3-9	IPM-GP2.8-DI3 「統合プロジェクト管理」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。
1130	8.5.3					3-10	RSKM-GP2.8-DI3 「リスク管理」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。
1131	8.5.3					3-11	IT-GP2.8-DI3 「統合チーム編成」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。
1132	8.5.3					3-12	DAR-GP2.8-DI3 「決定分析と解決」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。
1133	8.5.3					3-13	OE-GP2.8-DI3 「統合のための組織環境」プロセスを、その実施のための計画に照らして監視し、制御する。そして適切な是正処置をとる。
1134	8.5.3					4-1	OPP-GP2.8-DI3 計画に対して、組織プロセス実績プロセスを監視し、制御し、そして適切な是正処置をとる。
1135	8.5.3					4-2	QPM-SP2.3 選択されたサブプロセスの実績を監視して、そのサブプロセスに品質およびプロセス実績目標を満たす能力があるかどうかを判断し、必要に応じて是正処置をとる。
1136	8.5.3					4-2	QPM-GP2.8-DI3 計画に対して、定量的プロジェクト管理プロセスを監視し、制御し、そして適切な是正処置をとる。

ISO9001/SW-CMM/CMMI対応一覧表

	ISO9001		SW - CMM			CMMI		
1137	8.5.3					5-1	OID-GP2.8-DI3	計画に対して、組織改革と展開プロセスを監視し、制御し、そして適切な是正処置をとる。
1138	8.5.3					5-2	CAR-SP1.1	分析する欠陥およびその他の問題を選択する。
1139	8.5.3					5-2	CAR-SP1.2	選択された欠陥およびその他の問題の原因分析を実施し、その原因に対応する処置を提案する。
1140	8.5.3					5-2	CAR-SP2.1	原因分析で作成された、選択された処置提案を実施する。
1141	8.5.3					5-2	CAR-SP2.2	プロセス実績に対する変更の影響を評価する。
1142	8.5.3					5-2	CAR-SP2.3	プロジェクト横断的および組織横断的に使用するために、原因分析と解決データを記録する。
1143	8.5.3					5-2	CAR-GP2.8-DI3	計画に対して、原因分析と解決プロセスを監視し、制御し、そして適切な是正処置をとる。
1144								
1145								
1146								